

心 手

で で

Kanazawa  
College of Art

2022

つ 考

く え

る へ

金沢美術工芸大学



## 大学憲章

金沢美術工芸大学は、1946年、戦後の混乱と虚脱のなか、学問を好み、伝統を愛し、美の創造を通じて人類の平和に貢献することを希求する金沢市民の熱意により、工芸美術の継承発展と、地域の文化と産業の振興を目指して創立された。

以来、本学は豊かな自然環境と歴史的遺産のなかで、美術・工芸・デザインの分野における個性豊かな教育と学術研究に取り組み、文化都市金沢の発展の一翼を担ってきた。

素材を知り、技を磨き、現代に生きる表現に高めるべく「ものづくりの精神」を尊び、幅広い人間性に裏付けられた理論と技術の彫琢をとおして、芸術が社会に果たす役割を自ら探し行動する人材を育成し、世界における創造の機会の拡大と多様化に資するために、本学は知と創造の拠点となることを目指す。

## 沿革

1946	本多町3番丁(現出羽町)に金沢美術工芸専門学校(本科3年、予科1年制、美術科45人、陶磁科30人、漆工科30人、金工科15人、計120人)を設立	1992	工芸実習棟(3階建、建物面積3,610.19㎡)が完成
1950	金沢美術工芸短期大学(3年制、美術科45人、工芸科75人、計120人)を設立	1993	共通造形センターが発足(～2010)
1955	金沢美術工芸大学(4年制、美術学科[絵画専攻・彫刻専攻]40人、産業美術学科[商業美術・工業意匠]60人、計100人)を設立	1996	学科再編により美術科(日本画専攻・油画専攻・彫刻専攻・芸術学専攻)65人、デザイン科(視覚デザイン専攻・製品デザイン専攻・環境デザイン専攻)60人、工芸科20人が発足
1965	美術科定員を1学年40人から55人に増員、商業美術、工業意匠を商業デザイン専攻、工業デザイン専攻に変更 産業美術学科に工芸・繊維デザイン専攻(15人)を設置	1997	大学院博士後期課程を設置
1966	教職課程(正規・聴講)を設置 図書館及び実験研究棟が完成	1998	国際的芸術家滞在制度を発足(～2006) 芸術学専攻、デザイン科3専攻が推薦入学を実施
1970	伝統工芸聴講生制度を設置(～2011)	2000	大学院修士課程再編により(絵画・彫刻・芸術学・工芸・デザイン専攻)の5専攻が発足 図書館棟増改築工事(増築部3階建、建物面積2,224.83㎡)が完成
1971	博物館学課程を設置	2001	運営諮問会議を設置(～2010)
1972	美術工芸研究所を設置 小立野5丁目11番1号に新校舎が完成 (敷地面積57,242.88㎡、建物面積15,026.93㎡)	2005	大学院修士課程(デザイン専攻)にファッションデザインコースを設置 美術工芸研究所に産学連携センターを設置
1973	研究生制度(学部)を設置 市民講座を開設(～2006)	2006	美術工芸研究所を再編し、教育研究センター、地域連携センター、産学連携センター、国際交流センターの4センターが発足
1974	工芸・繊維デザインを工芸デザイン専攻に変更	2007	美術工芸研究所を造形芸術総合研究所に改称 芸術学専攻定員を1学年10人から15人に増員
1977	市民工房を開設(～2004)	2008	財団法人大学基準協会の大学基準適合認定
1979	大学院修士課程(絵画・彫刻専攻、産業デザイン専攻)を設置	2010	アートギャラリー開設(～2014) 公立大学法人金沢美術工芸大学に移行 造形芸術総合研究所を美術工芸研究所に改称
1980	大学院棟が完成 (鉄筋コンクリート造3階建、建物面積3,366.85㎡) 夜間教養講座を開設(～1991)	2011	問屋まちスタジオを開設 アートベース石引を開設
1985	石影棟を新築	2014	柳宗理記念デザイン研究所を開設
1986	美術学科に芸術学専攻(10人)を設置 美術工芸研究所棟(4階建、建物面積3,364.7㎡)、 美大ホール(500席、建物面積1,331.01㎡)が完成	2016	社会連携組織を再編し、社会連携センターに地域連携部門、 産学連携部門、知財管理部門を設置 アジア美術戦略会議、キャリア支援室が発足
1990	大学院修士課程(芸術学専攻)を設置	2017	美術工芸研究所ギャラリーを開設 研究生制度(学部)を廃止
1991	大学院(修士課程)工芸デザイン専攻定員を 1学年15人から20人に増員	2018	大学院美術工芸研究科に研究生制度を設置

## 活動指針

### 創作の意欲と能力を育てる教育の推進

Creative Potential

地域の文化資源を活用し、「手で考え、心でつくる」をモットーに創造力を高め、人間味あふれる個性と倫理を涵養し、未来社会を拓くクリエイターの育成を目指す。

### 質の高い研究とオリジナリティの追求

Professional Individuality

深く芸術の神髄を探究し、諸分野における卓越した知識と技術の継承によって、固有の芸術領域を開拓し、創造的かつ先端的な文化の発信母体となる。

### 地域と世界に貢献する芸術活動の展開

Public Contribution

市民から愛され、尊敬される芸術文化教育の中核を担い、地域社会の活性化と人々の幸福を願い、地球社会の平和と共存に貢献する。

### 自立した大学の運営と公共性を重んじる組織の発展

Institution Independence

社会の変化に迅速かつ的確に対応できる教育体制と事務組織を構築し、自己決定、自己責任に基づく自主自立の大学運営を目指す。

金沢美術工芸大学  
KANAZAWA COLLEGE OF ART



## このまちで学ぶこと。 手で考え、心でつくること。

学問を好み、伝統を愛して  
その歴史を紡いできたまち、金沢。  
工芸が今も生活のなかに息づくこの地は、  
ものづくりのまちでもあります。

金沢美術工芸大学は、  
戦後の困難な時代のなか、  
人のつくる力を信じる金沢の市民が、  
その心でつくった大学です。

この大学には、  
「手で考え、心でつくる」ということばがあります。  
ここで教鞭をとったある教員が残したこのことばは、  
ものをつくることが  
「つくりながら、試み、考える」ことであること、  
「心をこめて」行うことであることを教えてください。

この大学で、たくさんの先輩たちが  
「つくりながら、試み、考える」ことを繰り返し、  
「心をこめて」作品をつくりあげ、  
世界へ飛び立っていきました。

「手で考え、心でつくる」。  
今日も金沢美術工芸大学では、  
このことばのもとで、  
学生たちが学び、鍛錬を重ねています。

ものをつくること、そして  
ものをつくることについて真剣に考えること。  
それを志すあなたの豊かな力になる時間が、ここにある。  
私たちは、そう信じています。



## 目次

大学憲章	02
活動指針	03
学長挨拶	06
日本画	10
油画	16
彫刻	22
芸術学	28
視覚デザイン	34
製品デザイン	40
環境デザイン	46
Hello! KANABI New Design.	52
工芸	58
一般教育等・基礎科目	64
修士課程	72
博士後期課程	76
関連施設	82
社会連携センター	84
附属図書館	85
国際交流	86
キャンパス移転について	88
大学の組織	90
入学試験結果・学費	92
教員一覧	94
活躍する卒業生	96
学生生活	98

## ご挨拶



金沢美術工芸大学 学長 山崎 剛  
President Yamazaki Tsuyoshi

私たちのキャンパスには正門というものがありません。本館の正面に向かって校地を眺めると、入り口としての門も、内と外を隔てるフェンスも無いことに気づくでしょう。けやきの木々に彩られた校庭を、ときおり近所の保育園の園児たちが乗り合いカートで散策しています。校舎に入ると廊下の壁にピクチャーレールがあり、まるで部屋のように広い廊下が展示室の役割を果たしていることに気づくでしょう。ここで学生が作品を展示し、教員による講評が行われ、また廊下という空間ゆえに人が通り、不特定多数の他者が作品を目にします。

私たちのキャンパスは開かれています。その一方で、学生たちの日々の学びは、良い意味で、正しく閉じられた環境の中で行われています。素材を知り、技を磨くためには、自己を見つめ自己と向き合うことが大切だからです。学びは、習うこと或いは做うことに始まり、私たちはそれを勉めて強いるでしょう。絵画には絵画の、彫刻には彫刻の、工芸には工芸の、デザインにはデザインの、芸術学には芸術学の、学ぶべき基礎が何よりも大切だからです。大学での学びは、社会的な有用性といったものから一定の距離を保ち、基礎力を磨く貴重な時間です。

私たちが考える芸術創造の自由、一人ひとりの世界観の構築はその先にひろがっています。だから大学憲章に、「素材を知り、技を磨き、現代に生きる表現に高めるべく「ものづくりの精神」を尊び、幅広い人間性に裏付けられた理論と技術の彫琢をとおして、芸術が社会に果たす役割を自ら探し行動する人材を育成する」と謳うのです。そして目まぐるしく変化する社会において、芸術が社会に果たす役割を自ら探し行動すること、更には自らの世界観に基づき継続すること、その芸術に生きる力を育みたいと、私たちは心より願っています。

ともに学びましょう。けやきの木々に彩られたキャンパスで。

## 美術工芸学部

### 美術科

日本画専攻  
油画専攻  
彫刻専攻  
芸術学専攻

### デザイン科

視覚デザイン専攻  
製品デザイン専攻  
環境デザイン専攻

### 工芸科





## 日本画

進化し続ける日本画の世界。  
古典を学び、現代における表現を探る。

日本画の表現は、  
その長い歴史のなかで  
大きく発展してきました。  
基礎を丁寧に積み重ね  
伝統技術を確実に習得しながら、  
自らの表現を切り拓く道筋を探ります。

## 100年後に残る絵画を目指して

美しい岩絵の具、本質をとらえた表現…この国に伝わる日本画と呼ばれる独自の絵画表現は時代とともに幅を広げつつ進化を遂げてきました。しかしこの表現方法の習得には古来よりさまざまな「画派」の存在が示すように、やる気や根気とともに段階を踏まえた教育が必要でした。本学の日本画では緻密に計算されたカリキュラムで日本画技術の基礎から伝統的表現を経て未来に羽ばたく日本画表現を目指す人材をアシストします。

### 1年次

#### 精密描写

野菜／草花／岩石／鳥／魚（鯉）／小動物／自画像

#### 古典絵画模写

白描／着彩／臨模

#### その他実習

デザイン／彫刻I／工芸技法（紙）／郊外写生授業（～4年）

#### 基礎描写

岩絵の具や膠など、日本画の画材の扱いは独特で非常に高度な技術を必要とします。ここでは静物や生物などを精密描写することで、日本画の基礎的技術やものの捉え方を学びます。



#### 古典

古典の名作を、その紙や絵具・筆使いの表情までを正確に写し取ることで古典絵画の技術を学びます。



#### その他の特色

少人数制による細かな指導  
1学年15人に対して4人の専任教員が指導を行い、3年生からは10名以上の非常勤講師が加わり、学生独自の表現を追求していきます。



写生指導風景



写生指導風景



講評会風景

### 2年次

#### 古典基礎技術

絹本／運筆

#### その他実習

工芸／彫刻II

#### 基礎表現技術

支持体制作／箔技法／裸婦デッサン（～4年）

#### 課題制作

植物／人物／動物／風景

#### 伝統的基礎技術

金銀の金属箔や絹など古くから伝わる素材とその使い方や表現を学び、自身の作品に活かしてゆきます。



#### 基礎表現技術

日本画制作の基本的な制作手順や裏打ち・水張りなど基本的技術を学び、ここまで学んだ様々な技法を用いて個々の想いを表現してゆきます。また課題制作として伝統的なテーマをどう自身の表現に反映させるかを学びます。



### 学外活動

#### 写生授業・研修旅行

毎年5月に全学年参加の写生旅行があります。行き先は白馬・上高地・戸隠など信州各地。日本画の基本である写生を通して学年間の交流や技術向上を図ります。また3年もしくは4年次に古美術研修を行い、見識を広めます。



郊外写生授業（信州）



郊外写生授業



研修旅行

### 3年次・4年次

#### 自由課題制作

#### その他実習

コンピュータグラフィックス

#### 発表制作

公募展、グループ展、個展等出品制作／各種発表／研修旅行（3年もしくは4年）／裸婦デッサン

#### 卒業制作

#### 自由課題制作

自由制作に移り、作品はかなり大型のものも手がけるようになります。伝統に基づいたもののみならず、現代に生きる感覚による作品制作も手がけます。技術的にも高度な表現に移ってゆきます。

#### 卒業制作

4年間の集大成として、これまでの日本画制作で培った考えや技術で自身の世界観を表現します。

#### 各種発表

学内展示をはじめ、様々な場での発表を前提にした制作をすすめ、各種公募展などでの入選・受賞をはじめ個展やグループ展などの自発的な場での発表を通して研鑽を積んでゆきます。



#### 卒業後の進路・活躍

日本画家（日展・院展・創画会等各公募系列他）、大学教員（京都市立芸術大学、佐賀大学、名古屋芸術大学、東北芸術工科大学、京都精華大学、宝塚大学、大阪成蹊大学、崇城大学、金沢学院大学、金城大学短期大学部 他）全国 小中高教員 学芸員（石川県立美術館、福井県立美術館、名古屋市美術館、MOA美術館、石川県立歴史博物館）文化財保護修復関係機関各種 公立工芸研究機関（九谷焼技術、輪島漆芸 他）造形作家 工芸作家（陶芸、染色、漆芸）、漫画家、イラストレーター、各種デザイナー、映像関係、繊維関係、印刷関係、報道関係、会社経営、流通、販売系  
**【受賞・発表】**日展（会員賞、特選）、日春展（日春賞、奨励賞）、全関西美術展（全関西賞 他）、臥龍桜日本画大賞展（大賞 他）、青垣日本画大賞展（大賞 他）、現代美術展（美術文化大賞 他）、文化庁在外派遣研修員、新風舎えほんコンテスト（優秀賞）、アフタヌーン四季賞（漫画）、院展（奨励賞）、春の院展（奨励賞）、東山魁夷記念日本画大賞展（大賞 他）、上野の森美術館大賞展（特別優秀賞）、三溪展（優秀賞）、京展（京都市長賞 他）、菅盾彦大賞展（大賞、準大賞）、碧い石見の芸術祭全国美術大学奨学日本画展（準大賞）



暮らす  
 渡谷 香織 麻布、染料、胡粉、岩絵具、銀箔 H112×W194cm



Whereabouts  
 館野 楓奈 麻紙、水干絵具、岩絵具、墨、胡粉、ジェット、色鉛筆 H162.2×W194cm



花衣  
 澤村 真穂 和紙、岩絵具 H160×W320cm



安全圏より  
 真酒谷 祥加 麻紙、水干絵具、岩絵具、金泥 H194×W130.3cm



母  
 横山 茜 和紙、銀箔、岩絵具、水干絵具、墨、金泥、銀泥 H194×W130.3cm



爛々と  
 前田 茜 膠、胡粉、岩絵具、水干絵具、白金パール H130.3×W194cm



庭  
 中 愛里咲 岩絵具、水干、色鉛筆 H130.3×W194cm



## 油画

基礎から応用までつながる学びで  
世界へ羽ばたく力をつける。

油彩、アクリル、版表現といった絵画表現。

アニメーション、ビデオといった映像表現。

立体、インスタレーションといったミクストメディア。

造形芸術の基本をベースにしながら

それぞれの表現に特化した指導を行います。

# 基礎力を備えた新時代の芸術活動を担う人材の育成

造形美術における基本的理念を理解させるとともに、高度な油彩画技法を指導し、各自の個性と感性を伸展させます。新時代の芸術分野での活動を可能にする美術教育をととして、将来を担う作家として相応しい人材の育成に努めます。

## 1年次

1年次はデッサン力を養い、油彩画の基本技術を習得すると共に、他分野の実習を通じて広く美術を学びます。

### 石膏デッサン

石膏全身像の観察描写をととして、造形表現の基礎となるデッサンについての理解を深めます。



### 静物油彩

油彩画の材料・技法・構図等に関する基礎的な知識と技術を習得します。



### パネル地塗り・テンペラ画

パネルに白色地塗りを施し、テンペラ技法を実践することにより、西洋絵画技法の歴史と画面の重層構造を学びます。



### グリザイユ

無彩色の階調で描いたアンダーペインティングに彩色を施す古典技法を学びます。



### アクリル画



### 人物着衣油彩



## 2年次

2年次は前学期では西洋絵画の知識・技術についての理解を進展させ、後学期では授業単元のテーマに沿った課題制作をととして表現の可能性を探ります。

### フレスコ画

パネル作り・漆喰塗りから描画にいたるフレスコ画の伝統的技法を、巨匠の作品の模写を通して学びます。



### キャンバス制作

麻布に膠・白色地塗りを施した、自製キャンバスを制作します。



### カマイユ

自製キャンバスを用いて、黄褐色系(シラージュ)による技法を学びます。



### インスタレーション

教室外を含む開かれた空間の中で表現することを通じて、事物と空間の多様な関わりを学びます。



### アニメーション



### 版画



## 様々な授業形態



人体デッサン



パリ研修



現代絵画表現



郊外写生授業

## 実習を支える設備



石膏デッサン室



絵画技法材料研究室



映像制作室



素材室(立体造形)

## 3年次

3年次は制作のテーマや技術的な課題を明らかにするための表現技法研究と進級制作課題によって、表現の具体化について学びます。

### 表現技法研究

絵画、映像、立体・インスタレーション等の幅広い手段による表現を試行し、作品制作に繋がります。



### 進級制作・展示

個々の表現を具体化させ、作品を完成させます。4年次の卒業制作を視野におき学内ギャラリーにて展示を行います。

### 絵画表現(油彩、アクリル)

写実的な描写から抽象的な表現の探求まで、制作のテーマは多岐に渡ります。

### 映像表現(アニメーション、ビデオ)

紙とペンで描いた動画や、人形、CG、実写等を駆使して制作に取り組みます。

### ミクストメディア・空間表現

平面からインスタレーションを含む空間表現まで、様々な素材や技法を用いて取り組みます。

### 前期制作・展示

卒業制作につながる実質的な制作に移る中で、制作上の技術的な課題を解決していきます。学内展示をととして個々の制作に最適な作品サイズや制作期間、展示環境等について検討します。



### 卒業制作

学生生活の集大成として卒業制作を行います。完成した作品を金沢21世紀美術館に展示します。



## 卒業後の進路・活躍

画家、版画家、美術作家、絵本作家、漫画家、美術予備校講師、中学・高校教員、大学教員(茨城大学、群馬大学、福井大学、宮崎大学、広島市立大学、日本大学芸術学部、金沢学院大学、金城大学短期大学)、(株)アサヒサイクル、(株)イマジカデジタルスケープ、(株)エポック、(株)ケイ・ウノ、(株)KYORAKU、(株)グランゼーラ、(株)Cygames、(株)ジェー・シー・スタッフ、(株)Jtec ラボ、(株)TBSアクト、ニチイ学館、(株)フェニシス、フィルムデザインワークス、(株)フタバ、(株)北陸花火加工、(株)本田技術研究所、(株)任天堂、(株)モノリスソフト、(株)スタジオコロリド、Ufotable、(株)チップチューン、(株)ヨシダ宣伝、(株)ヨシダ印刷【他大学進学先】東京藝術大学大学院、武蔵野美術大学大学院【受賞・発表】第95回国展(新人賞・奨励賞・入選)、令和3年度みえ文化芸術祭第71回みえ県展(最優秀賞)、第23回雪梁舎フィレンツェ賞展(入選)、第56回関西国展(新人賞・賞候補)、第32回美浜美術展(入選)、ヤングアーティスト公募展「いい芽ふくら芽」in Nagoya(優秀賞)、第38回 福井サムホール展(入選)、2021年美の起原展(準大賞)、シェル美術賞2021(入選)、FACE展2022(入選)



私との交信求めて 堤 千春 キャンバス、アクリル H181.8×W227.3cm



金沢 小佐井 あかね キャンバス、油彩、和紙、オイルクレヨン H162×W227.3cm



生活の記憶 藤本 琴葉 キャンバス、油彩 H162×W194cm



Capture 松尾 珠綺 木、養生シート、木炭紙、映像プロジェクション H185×W272(×D136)cm



さよならと波で繋がるシーケンス 大井 里花子  
ミクストメディア H285×W204×D204cm、8分40秒



ランドマーク 鐺木 優奈  
パネル、アクリル H201.4×W162cm



世界のほと 仁藤 里蒼渚 ミクストメディア H230×W164×D164cm



光景 前中 沙絵 キャンバス、油彩、布 H162×W130.3×D3.1cm



## 彫刻

「自然」と「素材」と「自分」。  
新しい表現はいつもそのなかから見つかる。

無限に広がりを見せる  
今日の彫刻表現。  
たっぷり時間をかけ  
「自然」「素材」「自分」と向き合い  
制作に取り組むことで  
その可能性を掘り下げ、見つけます。  
明日の彫刻を切り拓くために。

# 「自然」を見つめ「素材」と語り「私のかたち」を求めて

現在、彫刻という表現の形態や解釈は多岐にわたり、限りなく可能性を広げています。彫刻専攻では、自然観察を通して形態の原理を学び追求することや、素材に触れその可能性を最大限に引き出すことを表現の原点として発展させていきます。自然を見つめ、素材と語り、時代を超えていく「私のかたち」を一緒に探しましょう。

## 1年次

1年次から2年次前期までは基本的な彫刻素材を通じた実習により、造形表現の基礎と各種の技法を体得します。

### 彫刻(一) I・II

自然観察 / 木彫実習 / 石彫実習 / 塑造実習

### 基礎科目

デザイン演習 / 映像メディア演習 / 絵画演習 / 美術解剖学・日本美術史 I・II / 東洋美術史 I・II / 西洋美術史 I

## 2年次

2年次後期は、造形理論を深化させながら自己表現の可能性を探ります。

### 彫刻(二) I・II

金属彫刻実習 / 複合メディア実習

### 選択課題:

塑造(人体) / 塑造(クレークワーク) / 石彫 / 木彫 / 金属彫刻 / 複合メディア

### 基礎科目

工芸演習 / 絵画演習 / 美学 / 西洋美術史 II / 色彩論 / 近代美術史

### 彫刻論 I



自然観察



金属彫刻実習



複合表現実習



木彫実習



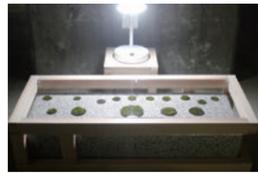
塑造(人体)



塑造(クレークワーク)



石彫実習



石彫



木彫



塑造実習



金属彫刻



複合メディア

## 卒業後の進路・活躍

彫刻家、造形作家、小学・中学・高校・大学教員、青山学院大学、金沢星稜大学、京都教育大学、東海大学、秋田公立美術大学、大阪成蹊短期大学、明星大学、愛知県立旭丘高校美術科、金沢市民芸術村、石川県立美術館、碌山美術館、金沢21世紀美術館、金沢森林組合、四季(株)、(株)共同通信社、(株)金沢舞台、劇団俳優座舞台美術、上越クリスタルガラス(株)、スズキ(株)、(株)本田技術研究所、井波彫刻・野村、(株)ウイン・ディー、(株)俄、(株)日産自動車、(株)セガ、(株)東京スタジオ、(株)コトブキワークス、(株)理光、(株)桑山、(株)北陸園芸、(株)道具、(株)イズム、(株)カブコン、(株)ピア21、(株)ダヴィンチ、(株)杉田石材、横浜美術大学、北海道教育大学、京都市立銅駝美術工芸高等学校[他大学等進学先]愛知県立芸術大学、沖縄県立芸術大学、京都市立芸術大学、多治見市陶磁器意匠研究所、多摩美術大学、筑波大学、東京芸術大学、富山ガラス造形研究所、広島市立大学[受賞・発表]各団体展出品、現代日本彫刻展等コンペ出品

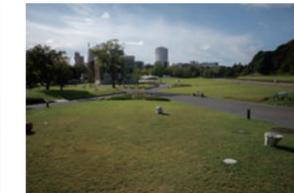
## 宮永愛子先生による学生指導



## 岩間弘先生による彫刻論



## 彫刻祭



## 選択制による表現・素材別制作演習

## 3年次・4年次

3、4年次は素材や表現別に、またはそれらを横断しながら、個人のテーマ、内容を掘り下げ作品の完成を目指します。

### 彫刻(三) I・II

### 彫刻論 II

### 彫刻史特講

### 基礎科目

コンピュータグラフィックス

### 彫刻(四) I・II

卒業制作

## 塑造(人体)



## 塑造(クレークワーク)



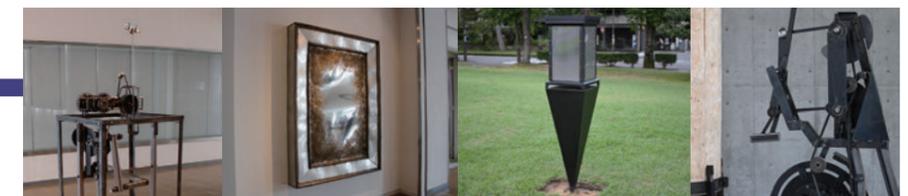
## 木彫



## 石彫

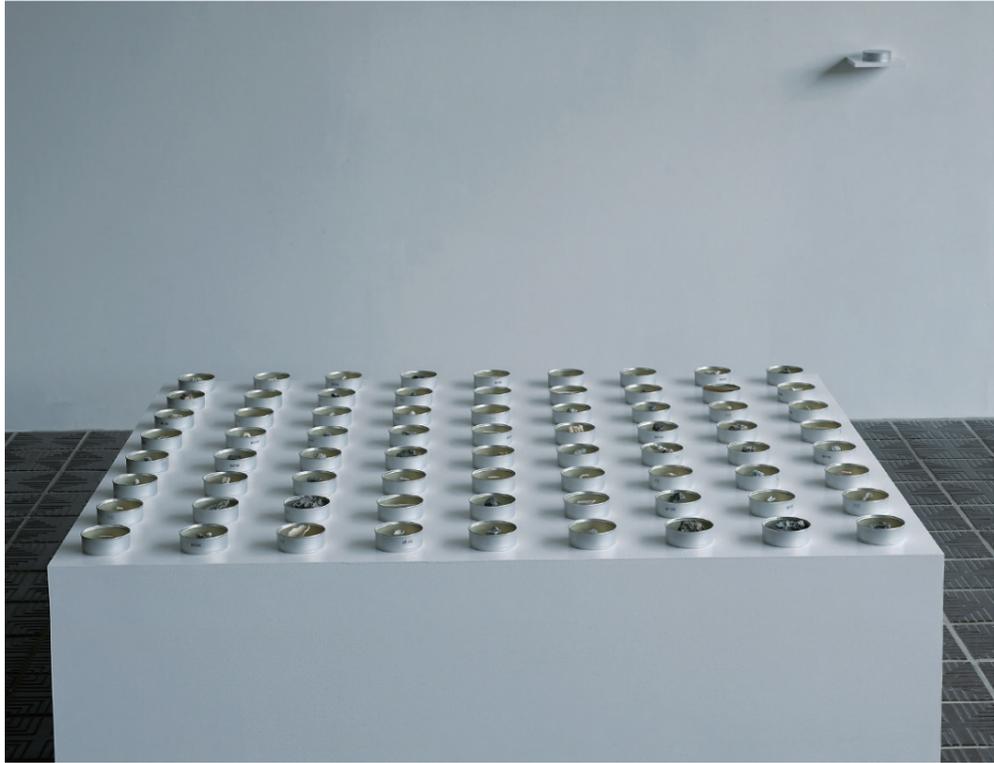


## 金属彫刻



## 複合メディア





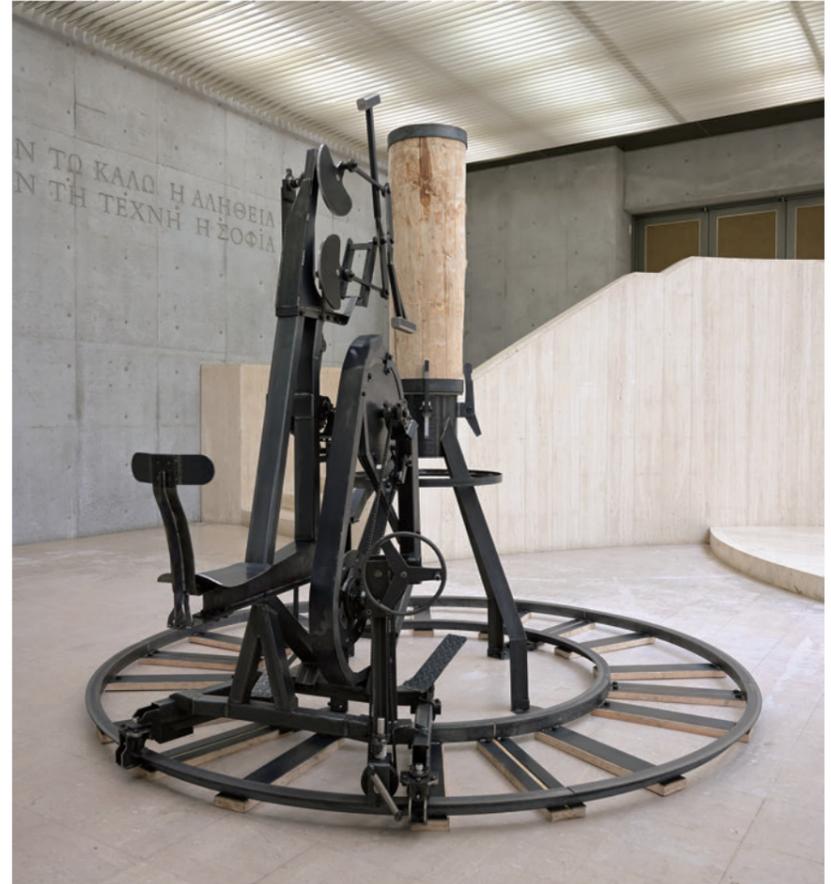
この星の欠片、海の蓋をあけること  
 岡田 真由美 プラスチックの漂着物、アルミ製の空き缶、アルミ製の蓋、インク 可変



平穩についてⅢ  
 二宮 海 ケヤキ H83.5×W260×D60cm



保証された信頼  
 岩永 千聖 ベンチ、標柱、同意の声 可変



痕跡は形となる  
 川口 貴一 鉄、木 H260×W300×D300cm

## 芸術学

芸術を広く深く探求し  
地域、社会、そして世界への貢献を目指す。

伝統工芸のまち、  
金沢ならではの環境をいかした  
「学び」と「研究」の場を提供します。  
芸術をあらゆる視点から深め  
多様な領域における専門的研究を可能にし  
その成果を世の中に還元できる人材を育てます。



## 芸術の現代的意義を、グローバルスタンダードの学術研究と領域を超えた横断的なアートワークの実践により探求し社会をリードする

芸術学 ⇒ Sustainable Contemporary Art Practice and Visual Culture Studies (SCAPE)

21世紀の芸術の置かれた複雑多様な社会、経済、文化、環境の問題を理解し、持続可能な社会への希望を発信する実践と視覚文化研究のできる人材を育てます。

### 1年次

視覚文化史、文化産業学、文化人類学、コミュニティ社会学、科学技術論、市場経営学、持続可能経済学等を横断した現代批評構築や多言語コミュニケーションをスタディスキルの基本として導入します。並行して、市場の現在性に基づく、立体・平面・メディアアート等、多岐に渡る表現形式を媒体とする現代美術領域の実践的理論と創作の探究を行います。

芸術学演習(一)〔グローバル美術理論1〕

芸術学概論

彫刻・工芸・デザイン・映像メディアなどの実技

芸術学演習(一)  
〔グローバル美術理論1〕

芸術学における研究・調査・議論・発表に必要なスタディスキルの基礎を身につけます。金沢のローカル文化を通してグローバルな視野で考えるために必要な現代批評と重要なポストコロナル理論を日英語文献で多読し、工房見学などのフィールドワークも行いながら小型プロジェクトを達成します。



梅山窯(中村卓夫)工房見学

芸術学概論

〔多形式表現制作の理論と実践の基本〕

現在の市場性と批評軸を調査し、表現を成立させる多様な社会の背景を理解します。以上をバックボーンとして、ディスカッションやディベートを通しグループワークでの現代美術制作に取り組みます。整合性のある作品とコンセプトで表現の強度を上げる術を学ぶこと、独自性のあるイメージを顕現出来る基盤を作ることが目的です。



実技室内授業風景

学外研修

本専攻の教員には、欧米の美術大学を卒業した者、長く教鞭を執っていた者、作家として海外で活動していた者など、現代の国際的な芸術事情に精通する教員で構成されています。生きたグローバルネットワークを活かし、希望に応じて海外研修等を企画する他、海外留学、アーティストインレジデンス、芸術祭参加などのキャリア形成の架け橋となります。

### 2年次

1年次の学際的かつ横断的なアプローチによる研究・制作導入に引き続き、ポストコロニアル理論と視覚文化の問題の理解を深める一方、制作プロジェクトを通して多形式を前提とした現代の美術市場傾向を鑑みた「実践」を行います。

芸術学演習(二)

芸術学特講〔グローバル美術理論2〕

絵画・版画・工芸・美術表現などの実技

芸術学演習(二)  
〔多形式表現制作の理論と実践の発展〕

ひとつの大きな作品として、時事問題や市場に絡めたテーマ等を選んで企画展を立ち上げます。デザイン(編集、アートディレクション等)、企画(ギャラリスト及プロデュース及学芸員)、制作(アーティスト)の3グループのうちいずれかを選択し、交渉や関わりのある模擬社会の中で展覧会を成立させます。自らの適性を探し、技量のみならず現場力を体得しながら専門性を深化させることが目的の総合学習です。

教育の特色①

自分＝社会の意識を強め、グローバル社会に説得力のある多言語と視覚表現を一体化して発信できる基本的なスタディスキルを養います。

芸術学特講

〔グローバル美術理論2〕

ポストコロニアル理論と文化社会(知の不均衡の力学、国家と人種、表象、ジェンダー、西洋—東洋、東アジアの植民地問題と脱植民、サステナビリティ等)などの批評の視点と方法論を日英語文献の多読を通して学び、議論することで現代の文化社会とアートの問題を考えます。



Guerrilla Girl!金美に登場!



藤田真央「不可分な境界」、  
素材：極薄原紙・落水紙、サイズ：可変

学外活動の支援

美術館・ギャラリー・文化財修理工房などの見学も随時行います。国内外学会への参加や発表、海外の研究や創作動向を直に知るためのワークショップ等へ誘導し就職や留学にもつながるネットワーク作りを促進します。また、学生主体による展覧会の企画、読書会、ディスカッショングループ、社会活動などの学外活動を積極的に支援します。



毎田染画工芸の見学(金沢市)

### 3年次

現代批評と実践の専門性を高め、各自の専門分野を確立します。近現代工芸/デザイン/視覚文化研究領域、現代美術領域—多形式制作及び実践的理論、現代批評及びアートプロジェクト領域、絵画表現領域、美術史研究領域などからゼミを選び、指導を受け、作品制作、プロジェクト企画、展覧会キュレーション、研究論文発表などを行います。

芸術学演習(三)

専門演習

(近現代工芸/デザイン/視覚文化研究領域、現代美術領域—多形式制作及び実践的理論、現代批評及びアートプロジェクト領域、絵画表現領域、美術史研究領域など)

絵画・コンピューターグラフィックスなどの実技

芸術学演習(三)

3年次には、卒業論文の足がかりとなるよう、研究対象に応じたより専門的な演習を行います。また、各自が美術品を購入し、それについて多角的な調査・研究に従事する演習もあります。購入品は国内外の絵画、彫刻から工芸品まで、多種多様です。各自研究成果を口頭で発表し、レポートにまとめ、あわせて学内で購入品の展覧会を開催します。

ゼミの一例 ⇒ 現代美術領域—多形式制作及び実践的理論  
現在の市場性と批評軸を調査し、表現を成立させる多様な社会の背景を理解した上で、自己プロデューススキルを習得します。独自性のあるイメージを顕現出来る自己の基盤を強化し、整合性のある作品とコンセプトで表現者としての深度を深めるとともに、企画展示やアーティストインレジデンスなどの野外学習などで現場力をつけ、即戦力として活動できる地盤を作ります。



2021年買い物ゼミの研究展示写真

卒業後の進路

愛知県陶磁資料館、石川県七尾美術館、石川県能登島ガラス美術館、石川県立美術館、石川県輪島漆芸美術館、伊丹市美術館、うつのみや妖精ミュージアム、金沢21世紀美術館、金沢市立中村記念美術館、金沢湯涌夢二館、九州国立博物館、黒部市美術館、公益財団法人鍋島報効会 徴古館、国立工芸館、静岡市美術館、女子美術大学歴史資料展示室、福井市自然史博物館分館、福島県立博物館、敦賀市立博物館、東京国立博物館、東北福祉大学 芹沢銈介美術工芸館、富山県水墨美術館、富山県美術館、豊田市美術館、名古屋市美術館、福井県立美術館、福岡アジア美術館、古川美術館、碧南市藤井達吉現代美術館、北海道立近代美術館、北海道立釧路芸術館、ポーラ美術館、柳宗理記念デザイン研究所、横須賀市美術館、横浜美術館、和歌山県立美術館、ヴァンジ彫刻庭園美術館、リンカーン群歴史協会(アメリカ合衆国)、東京藝術大学、福井大学、和光大学、公立および私立中・高等学校美術教員など〔他大学進学先〕九州大学、京都市立芸術大学、群馬県立女子大学、慶應義塾大学、神戸大学、昭和女子大学、総合研究大学院大学、千葉大学、中京大学、筑波大学、東京学芸大学、東京藝術大学、東京大学、東北大学、ニューヨーク大学、ブレーメン美術大学、ロンドン大学など



カルチュラルスタディーズ国際学会  
-Cultural Typhoon 2021 The  
'Back' Strikes Back「裏」の逆襲



領域横断ディスカッション  
グループ活動「もやっと女」

### 4年次

3年間に積み上げてきた表現研究、視覚文化研究、市場研究等をもとに確固とした研究意義のあるテーマを各自で選び卒業研究に取り組みます。多形式による作品制作またはアートプロジェクト企画などの実践と論文を組み合わせた研究を完成させ、成果は金沢21世紀美術館での卒業制作展で展示すると同時に公開講演を行います。

芸術学演習(四)

専門演習

(近現代工芸/デザイン/視覚文化研究領域、現代美術領域—多形式制作及び実践的理論、現代批評及びアートプロジェクト領域、絵画表現領域、美術史研究領域など)

卒業研究〔論文/制作〕

芸術学演習(四)

各自が主体的に設定したテーマを担当の指導教員の個人チュートリアルを受けながら発展させ、卒業研究(論文/制作)として完成させます。途中、口頭発表を何度か行うことで客観的な視野を蓄えます。作品制作またはアートプロジェクト企画などの実践と論文を組み合わせた学術的に高度でかつ卒業後に即戦力となる成果を目指します。

教育の特色②

芸術が果たす社会的役割の可能性を、創造的な実践と学際的な芸術学で開拓し、美術作家、批評家、キュレーター、研究者としてリーダーシップがとれる人材を育成します。



2021年卒業研究中間発表-遠山裕菜

## ごあいさつ

本日はご来場いただき誠にありがとうございます。

金沢美術工芸大学芸術学専攻では、理論と実践を通して専門知識や思考力を養い、芸術の諸分野に関する研究を行います。

本展では4年間の集大成として、卒業研究の成果を展示しています。私たちは約1年間に渡り、各々の興味関心に基づいて独自の調査を進めてきました。研究テーマはジャンル、年代問わず様々で、ひとつとして同じものはありません。新型コロナウイルスの影響により実物・現地調査が困難な状況ではありましたが、卒業生一同が研究を遂行し、このような形で展示できたことを非常に嬉しく思います。

本展では、研究の成果をまとめた論文はもちろんのこと、私たちの研究により興味を持っていただきたいという思いから各論文を紹介するパネルも展示しています。

また、今回は展示会に際して卒業生同士で論文を読み、レビューとしてお互いに意見や感想を書き合いました。こちらも参考にしながら、ぜひ論文を読んでみてはいかがでしょうか。

最後に、私たちが研究を進めるにあたってご指導いただいた先生方や多くの方々にこの場を借りて改めて感謝申し上げます。

令和4年 芸術学専攻4年生一同

## 研究の方法

研究テーマや調査対象が一人ひとり違うのと同様に、それぞれの調査の進め方も多様多様です。今回は、約1年間に及ぶ卒業研究の中で、私たちが行った主な研究の方法をいくつかご紹介します。

### 読む

自分が研究したい内容が書かれた文献や先行研究から情報を得る。

### 聞く

情報を知る人・研究者に質問やインタビューをする。

### 見る

作品や映像、当時の貴重な原物資料を自分の目で確認する。

### 体験する

ワークショップやオンラインイベントに参加して体験する。

### 行く

研究対象の建築や場所、芸術祭などに実際に訪れて調査する。

### 頼る

研究に行き詰まったら指導担当の教員まで相談に行く。

## 日本刀の在り方の変化と、美術工芸品としての存続

芸術学専攻4年 1818003 鈴木紅羽

### 章立て

はじめに

第1章 日本刀の受容の変化  
第1節 日本刀が持つ複数の役割・意味  
第2節 時代による日本刀の需要の変化

第2章 幕末・明治期の外国人から見た日本刀  
第1節 Via & The Metの日本刀コレクション  
第2節 コレクションの傾向の考察

第3章 現在の日本の若者から見た日本刀  
第1節 美術工芸品としての日本刀の現状  
第2節 いわゆる「刀剣ブーム」について  
第3節 鉄の展示館での取り組み

おわりに

鈴木紅羽

鈴木紅羽

## 染め分野における評価軸の構築

### —オールオーバー概念を用いた工芸領域の拡大—

現代の工芸品を通じて探求されたのは、そんな工芸の定義は**流動的**なものであることだ。

明治期の近代化によって形成された工芸の定義と現代の工芸は必ずしも一致しません。様々な定義がある一方で、工芸は長い時間をかけて変化し続けてきました。工芸作品をつくる人、鑑賞する人、研究する人、みな工芸を一種に定義できないので意見が食い違うこともあります。いま改めて工芸が内包しているものを明らかにし、その領域を拡大していく必要があるのではないでしょうか。

本研究では工芸領域の再探求に立ち、**工芸と他領域の要素との接点を調査**します。この接点は工芸の一要素として定義の現状を捉えつつ、工芸領域が狭まって再び開いていくためのきっかけになると考えられます。

卒業論文では工芸の中から染色分野を、特に関心のある染色のオールオーバー概念を選択しました。染めとオールオーバーの**交わり**を探し、その接点から工芸作品を再考します。

目次

はじめに

第1章 緒言

1-1 研究目的

1-2 研究意義

1-3 研究対象

第2章 研究の動機と背景

2-1 オールオーバー

2-1-1 概念

2-1-2 研究対象

2-2 染色

2-3 本研究を促したオールオーバーの概念

2-4 工芸の定義と他領域の要素との接点の調査

第3章 オールオーバーから見た工芸領域の拡大

3-1-1 オールオーバーの概念

3-1-2 染色からオールオーバーへ

3-1-3 オールオーバーの拡大

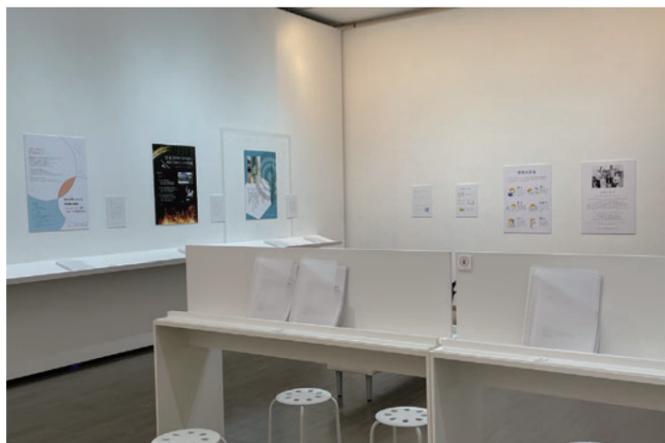
3-2 結論

3-3 今後の展望

おわりに

池野澤風花

池野澤風花



卒業制作展 展示の様子

## 卒業研究発表会

2022.2.26(土)  
金沢21世紀美術館 レクチャーホール

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、入場の際に長巻と検温券をご記入いただきます。  
(検温券が喪失した場合はの連絡係者様へお申し付けください)

※ 学芸員等の鑑賞をよりよくお願いします。

※ 入場券がレクチャーホールの収容人数を超えた場合、入場を制限する場合がございます。

時間	発表者	発表題目
10:00	伊藤 結希	東京における教育環境の移り変わりについて(新卒研究発表会)
10:30	鈴木 紅羽	日本刀の在り方の変化と、美術工芸品としての存続
11:10	池野澤 風花	染め分野における評価軸の構築 —オールオーバー概念を用いた工芸領域の拡大—
11:40	遠山 結実	母の家の記憶に着想した山本潤の自由画教育運動 —美術教育実践研究を軸として—
12:10	新留 璃子	「恩物」を通して見る20世紀前半の芸術表現 —日本におけるフレール思想の受容と文化への影響を中心として—
13:40	松田 真里和	ザオアシムと洗
14:10	松田 真里和	東京からみる人々の生活様式 —洗と洗と洗との関わり—

卒業制作展 発表スケジュール

## 「恩物」を通して見る20世紀前半の芸術表現

—日本におけるフレール思想の受容と文化への影響を中心として—

金沢美術工芸大学 芸術学専攻4年 1818009 新留璃子

序章 本研究の概要とフレール研究の現状

第1節 研究目的

第2節 研究の動機と背景

第3節 研究意義

第4節 研究方法

第一章 フレールの教育思想と恩物

第1節 生涯と思想の形成

第2節 幼児教育の理念

第3節 恩物の体系と内容

第4節 芸術表現と関連する教育理念の検討

第二章 日本におけるフレール思想の受容と浸透

第1節 幼稚園の開設と恩物の導入

第2節 恩物の批判—明治30年代以降

第3節 恩物の改良と積木の普及—フレール館の活動

第三章 フレール思想の日本の文化への影響

第1節 先行研究の検討

1-1 Inventing KINDERGARTENにおける指摘

1-2 岡崎純二「繪象の力」での指摘

第2節 雑誌に見る恩地の表現の変遷—「月映」での活動

2-1 内部感情の表現—「感情」での活動

2-2 恩地とフレール思想の接点

第3節 児童向け雑誌の興隆

3-1 児童雑誌「赤い鳥」と山本潤の自由画教育運動

3-2 雑誌誌「コドモノクニ」と食糧第三の教育観

終章 今後のフレール研究に向けて

第1節 結論

第2節 今後の課題

新留璃子

新留璃子

## 盥洗からみる人々の生活様式

### —衛生観と酒の需要との関わり—

芸術学専攻4年 1818013 松田真里和

序章 (はじめに)

1 研究動機

2 1章の構成

2-1 洗

2-2 洗

2-3 洗

第1章 洗とは

(1) 洗

(2) 洗

(3) 洗

第2章 洗と洗との関わり

(1) 洗の洗と洗の洗

(2) 洗の洗と洗の洗

(3) 洗の洗と洗の洗

第3章 洗の洗と洗の洗

(1) 洗

(2) 洗

(3) 洗

松田真里和

松田真里和

## 視覚デザイン

デザインはコミュニケーション。  
人の心を動かす技術と思考を学ぶ。

プロフェッショナルを多数輩出した  
充実のカリキュラム。  
手を動かし、ものづくりの原体験を積み重ね  
多様な課題に取り組むことで  
表現する「技術」と  
問題解決する「思考」を徹底的に鍛えます。  
それぞれの個性を尊重する少人数教育です。

# 人と人をつなぐヴィジュアルデザインを目指して

“ヴィジュアル・コミュニケーションは世界で戦う平和な武器である”を合い言葉に、徹底したマンツーマン教育を実践しています。デザインに「人の心を動かすアイデア」と「魅力的な表現」は欠かせません。当専攻ではあらゆるコミュニケーションジャンルに対応できること、また社会に通用する人材育成を目的に、一人ひとりの個性に合わせた高いレベルの制作指導を徹底しています。

## Cultivate 礎耕 1年次

デザインの基礎を徹底して学ぶ  
自分自身のデザイン力を耕す

基礎造形、表現と技術を学びます。  
デザイン科3専攻共通の課題も用意されます。

- 視覚デザイン演習(一)
- 描出演習
- 形態演習
- 色彩演習
- 材料学演習



スタートデザイン      マテリアル



欧文書体      色彩演習



ゲーム      コンピュータリテラシー



ダンボール      シルクスクリーン

## Inspire 触発 2年次

デザインの楽しさが触発される  
自分自身のデザイン力に水を与える

新聞広告、写真、シルクスクリーン、アイデアトレーニング等、  
ヴィジュアル・コミュニケーションの本質を学びます。

- 視覚デザイン演習(二)
- コンピュータ演習
- 印刷演習
- 映像演習



新聞広告      映像テクニック

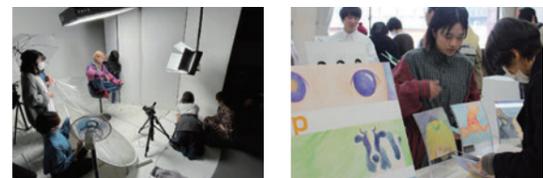


写真      絵本



組版      印刷演習



ソーシャルデザイン      サービスデザイン

## 学内行事



みんなでつくった絵本の見本市      美体祭(体育祭)      OACライブ

## 学外活動



研修旅行/直島、広島、出雲大社      地元の銀行でのプレゼンテーション      かなざわエコフェスタ/作品展示      ジンプロジェクト

## Blossom 開花 3年次

デザインを通して人と交流  
自分自身のデザイン力を試し花を咲かす

ヴィジュアル・コミュニケーションの本質を学ぶための  
応用演習が用意されています。

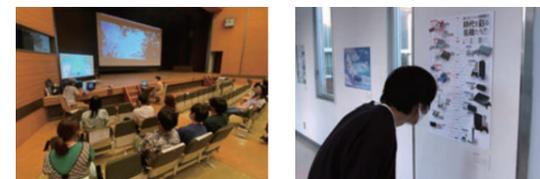
- 視覚デザイン演習(三)
- パッケージ演習
- 広告演習
- 画像処理演習
- デザインマーケティング



IDENTITY BOX



メディアと体験      社会連携



映像演習      インフォグラフィックス



画像処理      パッケージデザイン

## Harvest 結実 4年次

デザインを通して社会と交流  
自分自身のデザイン力の実を結ぶ

応用演習のまとめとして卒業制作に取り組みます。

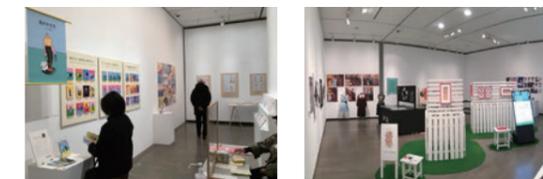
- 視覚デザイン演習(四)
- 卒業制作
- 意匠法規



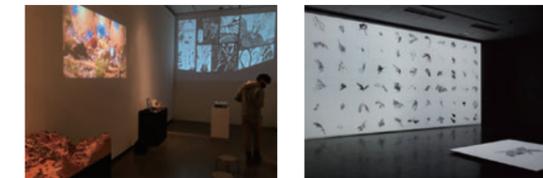
企画課題



卒業制作



卒業制作



卒業制作

## 卒業後の進路

アイレムソフトウェアエンジニアリング(株)、(株)アサツーディ・ケイ、(株)アドブレイン、ORBIS(株)、花王(株)、(株)加納デザイン事務所、キリンビバレッジ(株)、(株)クボタ、(株)湖池屋、(株)コーエーテクモゲームス、コナミ(株)、(株)Cygames、(株)サイバーエージェント、(株)サンリオ、(株)GA technologies、(株)ジェー・シー・スパーク、(株)資生堂、シャープ(株)、スーベニール(株)、(株)セガ、ソースネクスト(株)、ソニー(株)、(株)ソニー・コンピュータエンタテインメント、(株)大広、(株)DMM.Com、(株)TBSテレビ、(株)タカラトミー、(株)たき工房、(株)DNP住空間マテリアル、(株)DNPデジタルコム、(株)DNPメディアクリエイト、(株)DNPデジタルソリューションズ、(株)テレビ朝日、デンソーテクノ(株)、(株)電通、凸版印刷(株)、トヨタ自動車(株)、(株)ドワンゴ、(株)日本デザインセンター、日本郵便(株)、任天堂(株)、(株)博報堂、(株)博報堂プロダクツ、(株)阪急デザインシステムズ、(株)バンダイナムコスタジオ、パナソニック(株)、(株)ピークス、(株)ビズリーチ、(株)日立製作所、(株)ビボット、(株)flaggs、(株)ブラビスインターナショナル、本田技研工業(株)、三菱電機(株)、(株)メルカリ、ヤフー(株)、(株)リクルートコミュニケーションズ、(株)リッチェル、(株)リュウズ、1-UPスタジオ(株)



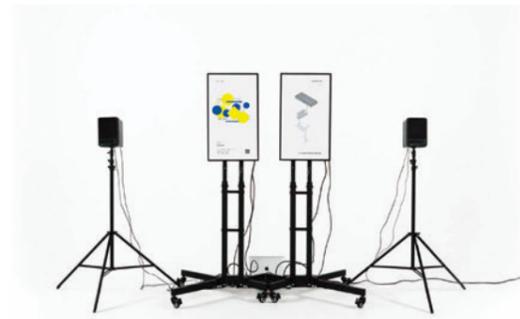
elcats! 出口 通菜 映像/ブランディング



BAT INVISIBLE 浦田 朋佳 VRゲーム



Think about sex 佐藤 柚花  
プロジェクト/ブランディング/パッケージデザイン/映像



KANABI 2021(TONE) 岩崎 菜々子 インスタレーション



petshop complex 表 千聖 イラストレーション



東京裁判 乾 真琳 アニメ企画/パンフレット



朝倉日向子特集号 脇田 彩花 キャラクター/造本



煩惱108手 親衛 雄行 イラストレーション



## 製品デザイン

柳宗理が推し進めた工房教育と  
進化するカリキュラムで、  
未来のプロダクトの姿を描く。  
実践と検証を繰り返し、力を伸ばす。

自ら手を動かしながら  
素材と技術を学び感性を磨く工房教育は、  
バウハウスからの流れを継ぐもの。  
社会情勢や生活環境の変化を捉えたカリキュラムで、  
論理的思考、探求力、表現力、伝達力を強化します。  
仮説から実験と改良を繰り返す  
検証的デザインプロセスをとおして、  
プロフェッショナルなデザインスキルを身につけます。

# 「手で考え、心でつくる」を理念に、 知性と感性豊かなプロのデザイナーを目指す

社会的ニーズに応える広い視野と解決力を持ち、コミュニケーション能力が高く、時代に敏感な創造性と造形力あふれるデザイナーを養成します。日用品や家具、電気製品、情報機器、公共用品、自動車などのデザインを扱います。様々な素材加工技術や思考プロセスを体験的に学び、理論を構築し、リアリティを持って社会の要請に応えうる、人間に対する理解とチャレンジ精神に満ちたデザイナー・研究者・教育者の育成を目指しています。

## Basic Training 1年次

### デザインの基礎を学ぶ

基礎造形、表現、技術を学びます。デザイン科3専攻共通の課題もあります。工房教育として、金属、木材、プラスチック等の素材加工技術、塗装などを学びます。

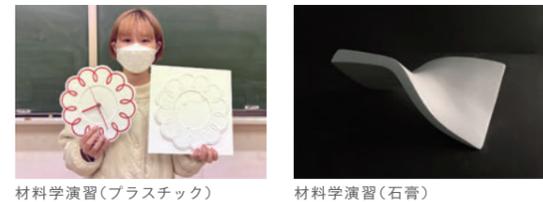
- 製品デザイン演習(一) 描出演習
- 形態演習 色彩演習
- 材料学演習 アイデアデベロップメント



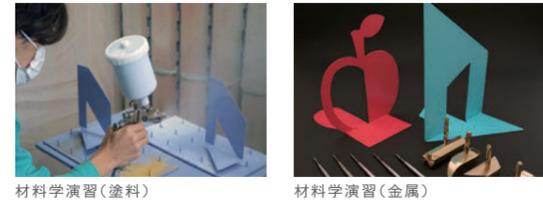
製品デザイン演習(一)／基礎造形 アイデアデベロップメント



形態演習／透過する造形 写真演習



材料学演習(プラスチック) 材料学演習(石膏)



材料学演習(塗料) 材料学演習(金属)

## Design Elements 2年次

### 製品デザインの要素を学ぶ

専門的なデザインスケッチやモデル制作の技法を学びます。製品の機能、素材、構造、詳細から造形を考えます。

- 製品デザイン演習(二) コンピュータ演習 I 3D
- デザインプロセス演習 インターフェースデザイン



製品デザイン演習(二)／コンセプトとカタチ デザインプロセス演習/サービスデザイン



製品デザイン演習(二)／機能(GUI) インターフェースデザイン



製品デザイン演習(二)／素材と構造と接合法



製品デザイン演習(二)／行為・動作のデザイン(UCD) コンピュータ演習/CAD

## 学外活動



しいのき迎賓館にて「Visionary thinking」展 オープニングイベント開催  
しいのき迎賓館にて「Visionary thinking」展開催 産学連携 PJ スカパー-JSAT&ズキ  
企業見学研修 / いすゞプラザ 見学  
学外研修 / 白山ろく民俗資料館見学

## Technical Knowledges 3年次

### 製品デザインのプロセスを通して手法を学ぶ

製品の調査、企画、デザイン、試作まで一貫した製品デザインのプロセスを通して手法を学びます。産学連携プロジェクトや、企業インターンシップへの参加など、より社会における実践に近い形でプロのデザイナーの仕事を経験します。

- 製品デザイン演習(三) 人間工学
- デザイン工学 コンピュータ演習 II GUI



製品デザイン演習(三)／椅子のデザイン



製品デザイン演習(三)／家電のデザイン



製品デザイン演習(三)／モビリティのデザイン



製品デザイン演習(三)／情報機器のデザイン

## Comprehensive Products 4年次

### 製品デザインの応用として視野を広げ、 必要なテーマを自身で発掘し解決に導く

インクルーシブデザイン演習、応用演習のまとめとして卒業制作に取り組みます。

- 製品デザイン演習(四) 卒業制作
- デザインマーケティング 意匠法規



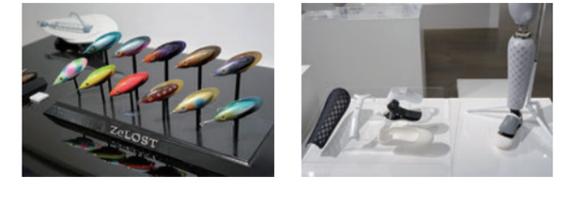
スタートデザイン 製品デザイン演習(四)／地域連携



製品デザイン演習(四)／公共用品のデザイン



卒業制作展(金沢21世紀美術館)



## 社会連携事業



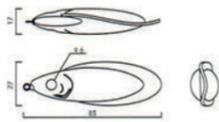
金沢マラソン2021完走メダルデザイン/金沢市  
メガネ部活動2021 IOFT展示/福井県眼鏡協会  
デザイントライアル/石川県  
デザイン開発体験塾/金沢市

## 卒業後の進路

アイシン精機(株)、愛知(株)、アイリスオーヤマ(株)、アクセンチュア(株)、アシックス、いすゞ自動車(株)、井関農機(株)、イトーキ(株)、INAX、NEC(株)、オカムラ、オリンパス(株)、貝印(株)、カシオ計算機(株)、カネカ、河津(株)、キャノン(株)、クボタ(株)、ケイテック、コクヨ(株)、サンデン(株)、ソースネクスト(株)、GK京都、GKダイナミックス、JVCケンウッド、シチズン時計(株)、島津製作所(株)、シマノ、シャープ(株)、伸晃化学(株)、スズキ(株)、SUBARU、セイコーインスツル(株)、セイコーウオッチ(株)、象印マホービン(株)、ソニー(株)、ダイキン工業(株)、大建工業(株)、ダイハツ工業(株)、タニタ(株)、デンソー、デプロ・インターナショナル・アソシエイツ(株)、東芝、トヨタ自動車(株)、トヨタ車体(株)、豊田自動織機(株)、ナトコ(株)、ニコン、日産自動車(株)、日産テクノ、任天堂、パイオニア(株)、パナソニック(株)、バンダイナムコスタジオ、日立製作所(株)、PFU、ブラザー工業(株)、ホンダアクセス、本田技術研究所、マツダ(株)、ミクシィ、ミズノ(株)、三菱電機(株)、柳工業デザイン研究会、ヤマハ(株)、ヤマハ発動機(株)、LIXIL、リコー(株)、リッチェル

# ZeLOST 85

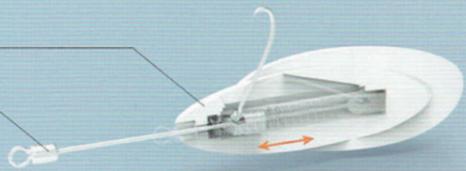
根掛かりによるルアーロスト0を目指した針内蔵型ルアー



## STRUCTURE

ABS樹脂

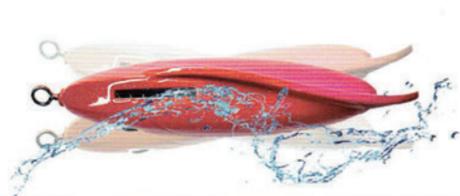
ステンレス鋼



### バネの反発力を利用した針の内蔵

バネの反発力以上の負荷が掛かると、針がスリットに滑って外部に露出する構造。ただ糸を巻き取るだけでは針が出ないため底をいくつも引ましても、はたまたばり夕陽などの障害物の多いポイントを決めても根掛かりする確率はほぼ0に近い。

## EXTERIOR



水流の向きや強さによって異なったアクションを誘発する左右に湾曲した大きなヒレ

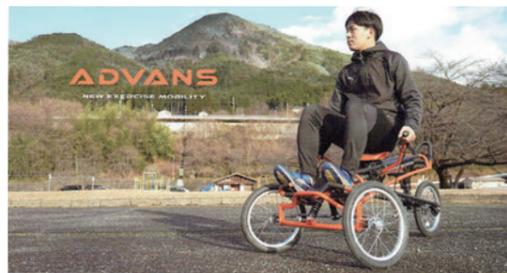


水流の抵抗を上面で受け流し浮き上がりを抑え、潜行深度（レンジ）をキープ

ZeLOST 85s 根がかりによるルアーロスト0を目指した針内蔵型ルアー 松尾 龍成



TRIVE 普段使いから遊びまで使えるコンパクト電動モビリティ 石塚 聖吾



ADVANS 公園で遊ぶエクササイズモビリティ 鬼丸 拓也



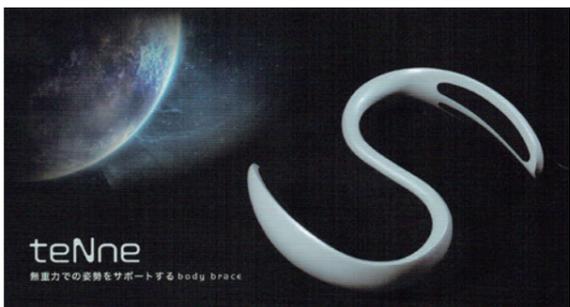
shu-ha 現代の生活に融け込む新しい書道のかたち 藤井 香菜子



p-box 自然でのテレワークを快適にするパーソナルモビリティ 近藤 桃子



Clutch 魅せることでより機能的で美しい義足カバー 金丸 侑平



teNne 無重力での姿勢をサポートするbody brace 諸井 千穂



finesta 窓辺で過ごすためのリフティングテーブル 中山 綾鈴



Long Latitud 記憶を蘇らせるトリガーの研究 森岡 さくら

## 環境デザイン

「人」から考える空間づくりを軸に  
分野を横断した創造力を育てる。

自然がつくったものであれ、  
人工的につくられたものであれ、  
私たちは24時間365日、  
「空間」のなかでその時間を過ごしています。  
環境デザイン専攻では、すべての基本を  
「人」と「空間」の関係におき  
多様なスケールでデザインの本質をとらえます。  
伝統と革新が共鳴する  
金沢のまちにも多くを学びます。



## 空間デザイン領域を柱として、社会に発信できるデザイナーを目指す

人のスケールを基本とした内部空間・インテリアデザインに軸足を置いており、その考えに基づいてデザイン・設計を計画、実施するカリキュラムが柱となります。そのためのデザイン演習の題材はショップ・ディスプレイデザイン、展示会やイベント、住宅や公共を目的とした施設、またそこで使用される設備、器具等や家具類です。また金沢の豊かな自然環境、都市環境に触れながら、活力あふれる独創的なデザインやまちづくりに携わる人材の育成を目指すとともに、一人ひとりの潜在能力を引き出し、現実の社会に対する提案力とグローバルな視野を養います。

### Basic Design 1 基礎1 1年次

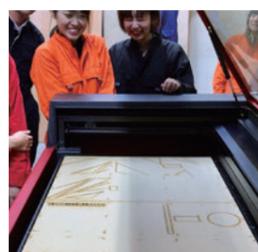
デザインの基礎を徹底して学ぶ  
自分自身のデザイン力を耕す

基礎造形、表現、技術を学びます。  
デザイン科3専攻共通の課題も用意されています。

環境デザイン演習(一) 描出演習  
形態演習 色彩演習  
材料学演習



デジタル基礎



デジタル工房実習(レーザーカッター)



アナログ工房実習



身体空間



6mキューブ課題



写実実習

### 学内行事



学内イベント/2年生



オープンキャンパス専攻展示



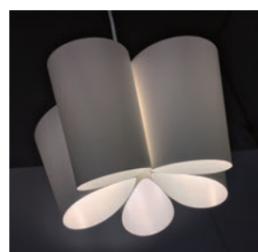
国際交流(ドイツBAU国際大学)

### Basic Design 2 基礎2 2年次

空間デザインの基礎を学ぶ  
自分自身の潜在能力を引き出す

インテリア、ディスプレイ、建築、庭園等の専門基礎を学びます。

環境デザイン演習(二) 建築史  
コンピュータ演習 建築製図法  
デザインプロセス演習 照明論



ペンダントライト



ナチュラルマテリアル



体験空間



住宅デザイン



ディスプレイデザイン



商品と店舗デザイン

### 学外活動



春の研修旅行



夏の企業見学ツアー



産学連携事業:KKRホテル金沢



社会連携の成果「いしかわインテリアデザイン賞2017 INTERIOR KOGEI賞」

### Applied Design 応用 3年次

専門性と独創性を学ぶ  
自分自身の専門性を深める

商業施設、公共施設を中心に高度な課題制作を行います。

環境デザイン演習(三) 景観論  
地域空間論 屋内計画論  
映像演習 建築論



リレー課題「廃コンビニをリノベーションする」「コンビニ→フルーツバー」



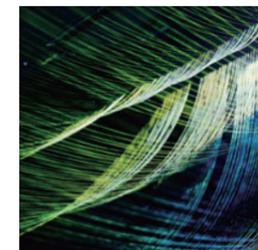
「コンビニ→図書館」



「コンビニ→住宅」



実寸制作「すわるをデザインする」



実寸空間

### Practical Design 実践 4年次

課題を抽出し社会へ発信  
自分自身のデザイン力を発表

金沢等の自然環境や社会環境から課題を見つけ、卒業制作に取り組みます。

環境デザイン演習(四) 環境デザイン特論  
卒業制作 建築法規



スタートデザイン



卒業制作/ランドスケープ



卒業制作/インテリア



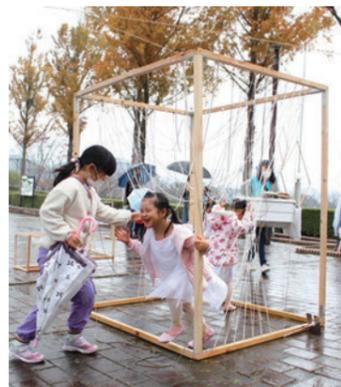
卒業制作/建築



金沢21世紀美術館での卒業制作展

### 卒業後の進路

イケア・ジャパン(株)、(株)イリヤ、(株)NHKアート、(株)遠藤照明、王子製紙(株)、(株)オカムラ、(株)オリバー、海法圭建築設計事務所、関西イベント(株)、京浜急行電鉄(株)、ケイミュー(株)、(株)五井建築研究所、ココヨ(株)、(株)コトブキ、コマーシー(株)、三協立山アルミ(株)、劇団四季[四季(株)]、(株)GK設計、ジーク(株)、(株)j、フロント建装、(株)資生堂、(株)ジャクエツ、スズキ(株)、snow peak(株)、(株)スペース、積水樹脂(株)、(株)船場、ソニー(株)、大建工業(株)、大和ハウス工業(株)、(株)タカショー、(株)丹青社、TOTO(株)、タカラスペースデザイン(株)、(株)DNPコミュニケーションデザイン、(株)戸田芳樹風景計画、トヨタ自動車(株)、トヨタホーム(株)、ナカダ(株)、日本テレビ放送網(株)、日本放送協会(NHK)、NEXCO西日本グループ、(株)乃村工芸社、(株)ノムラデュオ、(株)博展、(株)博報堂プロダクツ、長谷川豪建築設計事務所、パナソニック(株)、パナソニックホームズ(株)、(株)フジテレビジョン、(株)フジヤ、本田技研工業(株)、(株)ミキモト、ミサワホーム(株)、三菱電機(株)、三菱地所ホーム(株)、ムラヤマ(株)、ヤフー(株)、(株)LIXIL、YKK AP(株)



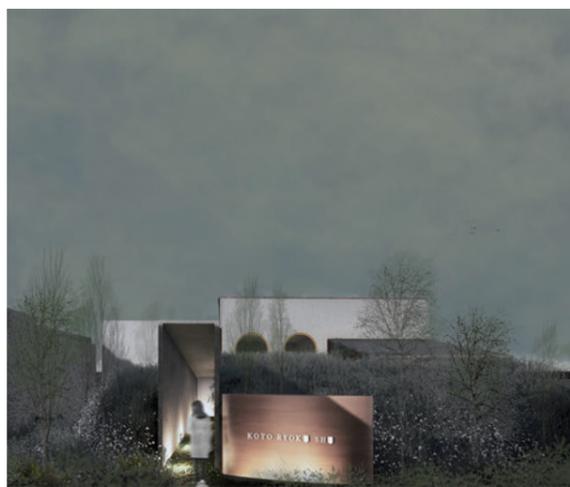
Asobiba  
場所性×身体性を生かした新しい舞台鑑賞のかたち 大塚 ゆり



RAFT of Etajima  
広島県江田島の景色と産業を巡る空間と体験のカタチ 山野 一真



TrialFarm型コテージ -ad.spin-  
コットンを軸に福島の魅力をもつ空間と体験の提案 山田 夏海



紅灯緑酒  
その土地の風景とお酒を楽しむ空間の考察 鈴木 歩佳



サウンドスケープで、日常の楽しさを生むデザイン 宮元 美月

# Hello! KANABI New Design.

## Holistic Design

ホリスティックデザイン専攻

## Industrial Design

インダストリアルデザイン専攻

今後の社会において、デザインの役割はさらに重要性を増し、多様に広がりつつあります。デザイン科では、より教育体制を強固にし、新しい時代を切り開ける人材を輩出するために、2023年春、新しい体制で再出発します。

新体制では、ホリスティックデザイン専攻とインダストリアルデザイン専攻に分かれ、専門分野における教育をより高度なものとした特色あるカリキュラムを編成します。グローバル化や多様化の進む現代の社会において、デザインの世界を広く捉え、優れた専門性を発揮できる人材の育成を目指します。

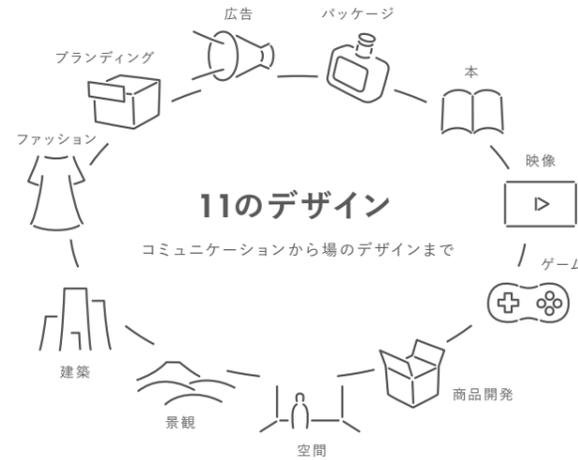
# Holistic Design

コミュニケーションから場のデザインまで、様々な専門領域とその関係性を学ぶ。

広告、パッケージ、ブランディング、本、映像、ゲーム、ファッション、商品開発、空間、建築、景観。11の専門を軸に包括的に学び、変化する社会、多様性が重視される世界に向けて、提案できる力をつけます。

## Holistic とは

ホリスティックはギリシャ語のホロス(全体)に由来し、部分を積み重ねても全体にはならない、全体は部分の総和以上のものだからであるという考え方を意味します。



## Holistic Design はデザインの森

森には様々な種の木が生育しているように、Holistic Designには、様々なデザインを専門とする教員がいます。学生は「鳥」です。鳥が森の中を飛び回るように、学生は様々なデザインを経験し、自分の興味や適性の高い領域で、デザインスキルの軸を見つけます。

次に鳥が巣の材料集めるように、学生は多様な領域の視点とスキルを集めます。そして鳥が居心地の良い場所に巣をつくるように、学生は自分の得意分野を形成します。種々の鳥がいて、様々な住み方をする。さらには多様に進化する。Holistic Designは「デザインの森」です。



**STEP 1**  
**居心地の良い場所探し**  
自分の興味や適性の高い領域でデザインスキルの軸を見つける

**STEP 2**  
**巣の材料集め**  
多様な領域の視点とスキルを集める

**STEP 3**  
**巣づくり**  
自分の得意分野を形成する

## Holistic Design の演習

11のデザインの基礎を学んでデザインの世界を広げ、そこから自分の得意分野を形成して行けるカリキュラムを組んでいます。



## Holistic Design の教員



下浜臨太郎 Shimohama Rintaro

グラフィックデザインを土台にして、様々なメディアに表現を展開します。実験的なプロジェクトが多いです。



畝野裕司 Uneno Yuji

化粧品デザインの実務経験から、人とモノと空間の関係性について実践的なデザイン研究を行っています。



坂野徹 Sakano Tohru

前職はブックデザイナー、印刷、インフォグラフィックスなど情報編集に関わることを担当しています。



鈴木康雄 Suzuki Yasuo

映像、写真領域のほかに様々な素材を複合的に用いた造形や表現に対する指導を担当しています。



樺島脩 Osamu Kabashima

エンターテインメント企業での企画経験を基に、アソビを取り入れた事業企画やサービスの研究を行っています。



北村賢哉 Kitamura Kenya

生活家電をデザインしてきた経験から「未来のくらし」に求められる商品やサービスについて研究しています。



角谷修 Kadoya Osamu

空間デザインを基盤に教育研究と社会連携活動をしなが、地域及び全国区のデザイン活動を実践しています。



鏑隆弘 Tsuba Takahiro

生態学を背景に現代的な公園緑地や庭園をデザインしながら、城下町金沢の古い庭園や街並を研究しています。



西本耕喜 Nishimoto Koki

建築設計事務所実務経験を積み、現在、社会や都市のことを考え、建築の提案や研究を行っています。



廣瀬純子 Junko Hirose

モード誌での実務経験を経て、ファッションディレクション・エディトリアルを専門に研究を行っています。



寺井剛敏 Terai Taketoshi

広告代理店等にて実務経験を重ね、地域と人の関係を大切に、ブランディングの研究と実践を行っています。

11名の教員それぞれの専門性のもと「多様なデザインスキル」を学び、全体的な視点で「領域横断型の創造力」を育みます。異なる専門領域のあいだを行き来し、自ら課題を探し出す力、新たな意味を見出し、未来を構想する力を養います。

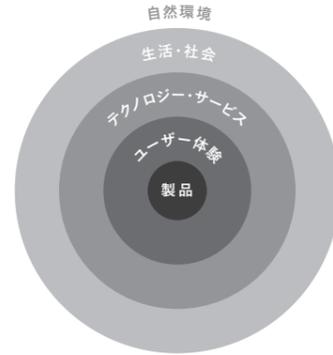
# Industrial Design

柳宗理が推し進めた工房教育を継承し、ものづくりを通して社会と生活の未来を拓く。

モビリティ、ICT、家具、家電、日用品、医療・福祉、システム・サービス、体験価値創出などを幅広く学び、産業の発展に貢献する力をつけます。自らの手を動かしながら素材と技術を学び感性を磨く教育を実践していきます。

## 広がる Industrial Design の領域

インダストリアルデザインは、生活に関わるモノやモノを通じた体験をデザインします。その範囲は社会のあらゆる分野に及び、日用品や家具、家電、住宅設備や情報機器、スマートフォンの画面や操作パネルのデザイン、医療分野や公共インフラ、モビリティなど広範囲に渡ります。一方、AIやIoTなどの新たなテクノロジーが密接に関わるようになり、新しい仕組みを考える必要性が求められています。広い領域を学ぶという意味で、「製品デザイン」から「インダストリアルデザイン」に名称を変更します。今後デザインは、社会の中で益々重要な役割を担っていきます。



Industrial Designが扱う領域



小学校の音楽作りのための弦楽器



魅せることを意識した義足カバー



観光地の魅力を伝える2階建てバス



AI活用による動画配信ツールとサービス

## Industrial Design の演習

本専攻では、時代の要求と共に進化し続けるカリキュラムを通して、4年間で専門的なスキルを着実に積み上げデザインの本質を習得します。

**1年** デザインの基礎を身につける

描出、形態、色彩の基礎演習、工房での材料学演習、コンピュータ演習での2D・3D-CG、アイデア発想法などを学びます。デザイナーの基礎力を身につけます。

**2年** デザインの要素を学ぶ

デザインのプロセスの中で重要なコンセプトと形・機能・構造・素材・カラーリングなどの要素を習得します。それぞれの演習で試作を繰り返すことで身につけます。

**3年** デザインプロセスを実践する

社会連携を通して調査・分析・企画・試作・検証まで一貫したプロセスを習得します。人間工学やデザイン工学などのデザインの背景も学びます。

**4年** デザインをマネジメントする

集大成としての卒業制作では、自分自身で社会課題と向き合い解決策を導きだします。マーケティング、意匠法規などビジネスに直結したデザインの側面も学びます。

## 工房教育

様々な材料や加工方法に触れることで、生の素材の特性を体全身の感覚で体験し、原寸大のモデルを自身で制作することでしか感じ取れない身体感覚を身につけていきます。「手で考え、心でつくる」を体現し、共感性の高いモノづくり、リアリティのあるモノづくりを目指します。



材料学演習では様々な素材と加工方法に触れ感性を磨きます。



創って、観て、考えることを繰り返して創造性と共感性を鍛えます。



原寸大のモデルを実素材で制作することで身体感覚を身につけます。



3DCADでのモデリングやプリントでリアリティを追求します。

## 卒業後の仕事

卒業生の多くが大手企業へ就職し、デザイナーとしてグローバルに活躍しています。



KANABI ARCHIVE



ANPカメラ [iNSPiC REC]  
キヤノン株式会社  
松浦泰明 2013年卒業



超軽量紙パック掃除機 MC-JP5 00G  
パナソニック株式会社  
筆谷直揮 2012年卒業



腕時計 EXCEE  
シチズン時計株式会社  
大嶽彩加 2012年卒業



Walkman® Eシリーズ NW-E050  
ソニー株式会社  
荻下直樹 2009年卒業



CBR600RR  
株式会社本田技術研究所  
平井穂 2008年卒業



オフィス家具「SAIBI(サイビ)」  
コクヨ株式会社  
横田早紀 2007年卒業



MAZDA3  
マツダ株式会社  
土田康剛 1998年卒業



AvantGrand N3  
ヤマハ株式会社  
大野正晴 1992年卒業



ドラム式洗濯乾燥機 TW-117X3  
株式会社東芝  
竹萬直 1992年卒業



2011 N-BOX  
株式会社本田技術研究所  
中村克仁 1991年卒業



家庭用テレビゲーム機Playstation3  
ソニー株式会社  
後藤祐祐 1977年卒業

## Industrial Design の教員



村中稔 Muranaka Minoru

情報機器のデザイン開発経験を生かし、人・もの空間・時間を考慮に入れ、人々の体験価値を創造するためのデザイン手法を研究しています。



浅野隆 Asano Takashi

自動車のデザイン開発経験を生かし、ソーラーカーやスマートモビリティ、公共交通機関などの次世代モビリティの研究を行っています。



河崎圭吾 Kawasaki Keigo

家電のデザイン開発経験を生かし、未来洞察や、共感共鳴のデザイン、ビジョナリーシンキングというビジョンの作り方の研究を行っています。



安島諭 Yasushima Satoshi

プロダクト、インテリア、映像、ITなど幅広い経験を生かし、プロトタイピングとデザインプロセスのイノベーションへの活用を研究しています。



根来貴成 Negoro Takanari

公共施設やオフィスなどの家具デザインの開発経験を生かし、人間工学を軸に新たな素材や構法などを検証して次世代家具の研究を行っています。

人間の生活に関する深い理解と社会の課題に対する広い視野を備え、実践力と造形力にあふれた世界規模で活躍する人材を育成していきます。企業等でデザイナーとして実績を積んできたエキスパート達が、少人数性ならではの丁寧な指導にあたります。

## 工芸

陶磁／漆・木工／金工／染織

伝統と革新の現場が、ここにある。  
金沢で学ぶ、工芸の最先端。

伝統技術が生きるまちで

さまざまな素材と技術に触れることで、  
つくり手の表現力を高めます。

時代の思考を適切にとらえる感性は、  
新たな美を創出します。

新しい工芸の世界を拓き、

世界へとつなげる架け橋となる力を育みます。

## 新しい工芸の世界を切り拓く人材の育成を目指します

工芸科では大学4年間の前半で各種伝統技法や素材について学び、特に工芸に対する知識と技術の習得を目指します。後半では「表現力と創造性」をキーワードとし、陶磁、漆・木工、金工、染織の各コースの特色をいかにしながら相互に連携を保ち、専門課程を軸とした研究に取り組みます。本学士課程をとらえて、世界に通ずる工芸作家やデザイナー、研究者、指導者を育成することを目指します。

### 1年次

「基礎と体験」ととらえ、  
工芸のあり方を模索します。

工芸演習(一) 描出演習 形態演習  
色彩演習 写真演習 デザインプロセス  
材料学演習(繊維・粘土・石膏・木材・金属)  
伝統文化論 立体図法

1年次は工芸の基礎を習得すると共に、陶磁、漆・木工、金工、染織の各コースを体験し広く表現力を養います。



材料学演習



陶磁



古美術演習



漆・木工



デザインプロセス



金工



形態演習

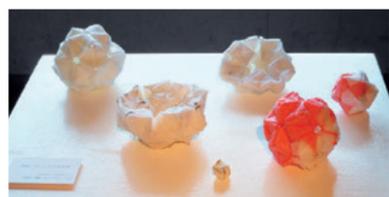


染織

### 学内活動



工芸企画演習



複合素材演習



制作研究会

### 2年次

「素材と技術」ととらえ、  
専門分野の知識と技術を養います。

工芸演習(二) 素材技法演習  
古美術演習

#### 陶磁コース

2年生では陶磁の基礎と表現媒体としての土の可能性を学びます。3年生では造形表現とデザイン展開を実践的に学びます。九谷焼の土壌を踏まえた技術習得に加え陶磁器による新たなモノづくりを模索し続ける、時代を見据えた次世代の表現を切り拓く人を育成します。

#### 漆・木工コース

2年生で漆芸の基礎を学び、3年生では素材や技法の展開と応用、さらに4年生では表現を目的とし、現代における漆・木工芸の可能性を探ります。また伝統や現代あるいは地域や文化など広い視野で時代を捉え、将来広く活躍し得る人材の育成を目指します。

#### 金工コース

現代の生活や社会の環境、情勢など世の中の動きを見据えながら、金属の特性を活かした鍍金、鍛金、彫金技法を習得し、豊かな表現力を養います。マンツーマン教育を通じ、次世代を担う人材の育成を目指します。

#### 染織コース

当地は加賀友禅の産地であり、また合成繊維の製造・加工に関して、質・量ともにトップレベルの産地です。本コースでは伝統から先端にいたる幅広い技術の習得、造形的表現やデザイン理論に軸足を置きながら、マンツーマン教育を通して新たな時代のモノづくりを目指します。

### 学外活動



地域工芸演習



伝統文化論(能楽)



伝統文化論(華道)

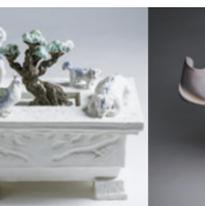
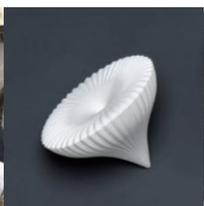


卒業制作展

### 3年次

「自己発見」の期間として、  
表現力と創造力を深めます。

工芸演習(三) 現代工芸論  
地域工芸演習Ⅰ・Ⅱ 複合素材演習  
工芸企画演習



### 卒業後の進路・活躍

赤木明登うるし工房、アッシュ・ペー・フランス(株)、(株)アックス、石川県工業試験場、石川県立九谷焼技術研修所、石川県立山中漆器産業技術センター、石川県輪島漆芸美術館、(株)INAX、宇仁繊維(株)、AMD(株)、大阪産業大学、鹿児島大学、上出長右衛門窯、グンゼ(株)、(株)ケイ・ウノ、劇団四季(四季(株))、(株)小西美術工芸社、(株)サンゲツ、セーレン(株)、セイコーインスツル(株)、ソニーPCL(株)、高岡デザイン・工芸センター、竹内プレス(株)、田崎真珠(株)、多治見陶磁器意匠研究所、(株)たち吉、tamaki niime、TBカワシマ(株)、東リ(株)、(株)とみひろ、富山県繊維試験場、西川産業(株)、(株)ニッコー、NIWAKA、白山陶器(株)、(株)バンダイ、飛騨産業(株)、福井県工業技術センター、独立行政法人造幣局、本田技研工業(株)、(株)SUBARU、(株)二上、(株)保志アルテママスター、(株)ミキモト装身具、(株)山崎麻織物工房、(株)ヨーガンレール、Los Angeles County Museum of Art、(株)ワコール、1-UPスタジオ(株)、スズキ(株)、(株)エーアンドエス、匠楽大竹仏壇製作所、金沢卯辰山工芸工房[受賞・発表]アートアワードトーキョー丸の内2012 シュウウエムラ賞、第50回日本クラフト展 日本クラフト大賞・経済産業大臣賞、2012伊丹国際クラフト展(酒器・酒盃杯) 奨励賞(ユーアイ賞)、第45回伝統工芸日本金工展新人賞、第39期国際瀧富士美術賞、第25回全国染織作品展奨励賞



気吹 佐藤 綾乃  
青銅、高錫青銅 左からH24×W17×D17cm、H14×W14×D14、H21×W20×D20



母性による依存 谷沢 周子  
漆、麻布、発泡スチロール、鉄H240×W270×D90cm



巡憶 堤 琴音  
漆、麻布H40×W50×D30cm



枯朽 家長 百加  
絹糸、オーガンジー、アルミ線H11~6×W8cm



いきもの 美崎 椎菜  
絹、綿、酸性染料H20~25×W20~40×D5~25cm



tetrapoda 曾和美佑  
真鍮、銅、洋白H5.5~16.5×W9~16×D3.5~9.5cm



偶像崇拝 明見 佳乃子  
陶土、下絵具H20×W20×D20cm



境 劉方瑤  
陶土、下絵の具、ガラス、硬化樹脂H64.5×W49×D30cm

一般教育等 / 基礎科目





## 一般教育等

クリエイティビティは  
文化を楽しむ感受性から生まれる。

伊勢物語からアインシュタインまで、  
創造性を育むリベラルアーツの領域は無限大。  
音楽、映像、漫画、コンピュータなど  
幅広い学びの世界へ誘います。  
救命救急、生涯スポーツをはじめとする体育、  
少人数・実践重視の語学演習(英・仏・独・伊)は  
学生の多彩な進路をサポート。  
4割の学生が教員免許状を、  
3割の学生が学芸員の資格を取得しています。

### Curriculum

#### 〈一般教育〉

哲学	人間と文化
心理学	フレッシュマンセミナー
社会学	博物館概論
歴史	金沢の文化行政
日本国憲法	キャリアデザイン
文学	スポーツ科学
文化人類学	物質の科学
考古学	材料の科学
生涯学習概論	情報処理

#### 〈教職科目〉

教育の本質と目的
教育心理学
教職論
教育課程論
教育方法論・特別活動の指導法
特別支援教育概論
道徳教育の指導法
教育相談の基礎と方法
総合的な学習の時間の指導法

美術教育法
工芸教育法
教育制度と社会
生徒指導・進路指導の理論と方法
教育実習事前事後指導
教育実習
教職実践演習

#### 〈博物館科目〉

博物館概論
博物館資料論
博物館経営論
博物館展示論
博物館資料保存論
博物館情報・メディア論
博物館教育論
博物館実習

## 基礎科目

専攻の枠を超えて理論と実技を学ぶ。  
そこにはいつも新たな発見がある。

表現の手法が拡張し、融合していく時代。

金沢美術工芸大学は、

そのはじまりから

専攻の枠を超えて学ぶことを

大切にしてきました。

すべての表現の根底にある本質を学び、

創造力の基礎を培います。

### Curriculum

美学	造形心理学	デザインⅠ	工芸Ⅰ(金工)	造形表現工房Ⅳ
日本美術史Ⅰ	環境心理学	(ゲームデザイン)	工芸Ⅱ(陶磁)	(素材・技術/素材技術研究)
日本美術史Ⅱ	建築論	(ファッションコミュニケーション)	工芸Ⅱ(ガラス)	(素材・技術/現代美術ミクストメディア)
東洋美術史Ⅰ	専門英語演習	(映像)	工芸Ⅲ(木工)	(素材・技術/芸術と科学)
東洋美術史Ⅱ	芸術と批評	(写真)	工芸Ⅲ(漆・木工)	(素材・技術/ファッションデザイン演習Ⅰ)
西洋美術史Ⅰ	保存修復概論	デザインⅡ	工芸Ⅳ(染織)	(素材・技術/ファッションデザイン演習Ⅱ)
西洋美術史Ⅱ	絵画Ⅰ(素描・模写)	(椅子)	映像メディア	造形表現工房Ⅴ
近代美術史	絵画Ⅰ(素描・人体)	(ステーションナリー)	コンピュータグラフィックス	(社会環境/アートプロジェクト)
工芸史Ⅰ	絵画Ⅱ(版画)	(ファッション)	版画	(社会環境/地域連携演習)
工芸史Ⅱ	絵画Ⅲ(日本画)	(日用品)	工芸技法(紙)	(社会環境/景観形成・造園演習)
美術工芸持論	絵画Ⅲ(油絵)	デザインⅢ	現代美術演習	(社会環境/社会教育・美術教育)
美術解剖学	絵画Ⅲ(フレスコ)	(ランドスケープ)	造形表現工房Ⅱ	造形表現工房Ⅵ
図学	彫刻Ⅰ(塑造)	(ディスプレイ)	(平面/銅版画技法)	(語学・理論/美術教育ゼミナール)
色彩論	彫刻Ⅱ(彫造)	(オブザベーション)	造形表現工房Ⅲ	(語学・理論/芸術と言語表現)
メディアアート		(建築)	(立体/彫刻表現)	(語学・理論/工芸作品展示と言語表現)

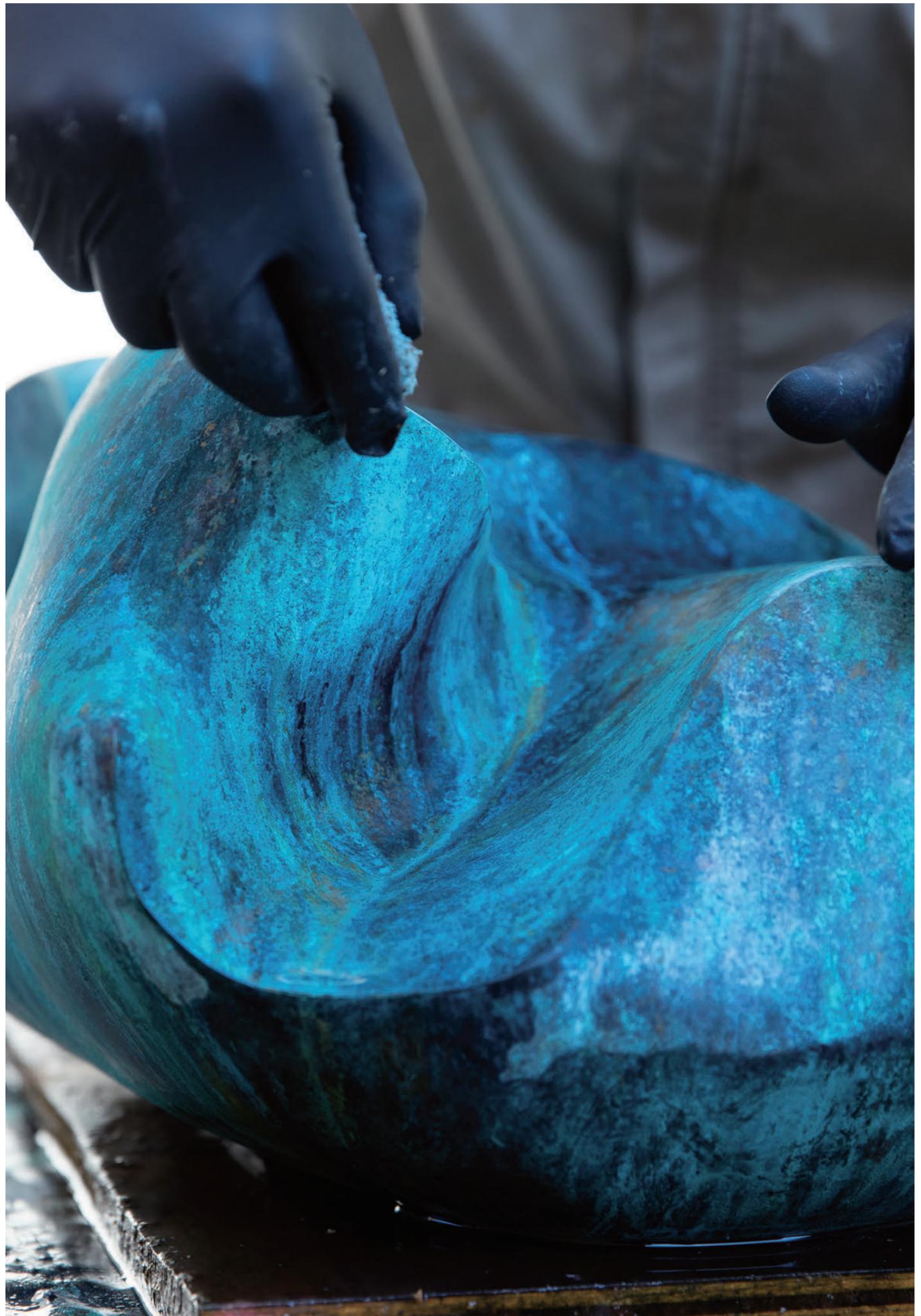




大学院

修士課程

博士後期課程



## 修士課程

専門性を高め  
学問に通じる道を拓く。

実践のなかに理論を見出し、  
理論から実技へ発展させます。  
相互に学びを高めることで、  
作品と理論を深化させていきます。  
国際的に開かれた環境で  
切磋琢磨を重ねる、創造と研究の場です。

## 美のなかに真、技のなかに智、学のなかに人あり

大学院修士課程は、博士前期課程としても位置づけられており、「広い視野に立って精深な学識を授け、芸術の各分野における創造、表現もしくは研究能力または芸術に関する職業等に必要の高度な能力を養う」ことを目的としています。学部での研究・制作を基礎とし、さらに専門分野・専門領域のより高度な研究・制作を自らの研究テーマに沿って行います。博士後期課程において求められる学識や能力の形成も視野に入れ、語学・論文作成能力の育成にも配慮したカリキュラムが編成されています。1979年の大学院修士課程設置以来、他大学出身者や外国人留学生も多く在籍し、自由で開かれた制作・研究の場となっています。

### 絵画専攻

日本画コース・油画コース・映像コースの3つの研究分野があります。「日本画制作」、「油画制作」、「映像制作」等の実技演習を中心にすえ、一方で、「絵画特論」、「映像特論」をはじめとして、「美術史特講(日本、東洋、西洋)」や「美学・芸術学特講」など理論面でも充実しています。絵画・映像の理論および技術をより専門的に探究するとともに、今日の表現にも目を向け、自由な発想のもと多様化する美術の展開に対応しています。

### 彫刻専攻

彫刻コースでは、塑像、木彫、石彫、金属彫刻を、環境彫刻コースでは、インスタレーション、コンセプチュアルな創造、ジャンルを横断した造形に対応する制作を行っています。理論科目では、都市空間、公共空間、自然空間の中での立体造形について考察し、多様化する現代美術の展開についても思考を重ねています。伝統的表現技法を追求しつつ、自由な発想のもと創造の世界を広げ個性的な作品を生み出すことを目指しています。

### 芸術学専攻

美学、日本美術史、東洋美術史、西洋美術史、工芸史の5つの研究分野をおき、演習・特講によって専門研究を行っています。また分野にとらわれない総合的・学際的関心を育成するための「芸術学特論」、美術大学の特色を生かした技法・素材研究のための「美術技法研究」なども設けられています。公開の研究発表を重ねながら学術的に高度なレベルの修士論文を制作し口頭発表することが課せられています。金沢の様々な美術館・博物館を活用した授業、国内外の実地調査、展示企画等の指導も行い、理論と実践を兼ね備えた美術の専門の研究者の育成を目指しています。修了生は学芸員をはじめとして広く美術の分野で活躍しています。博士後期課程進学、海外留学を選ぶ学生も多くいます。

### 工芸専攻

陶磁、漆・木工、金工、染織の4コースがあり、金工と染織はさらに2分野に分かれ、6専門分野で構成されています。恵まれた環境のもと、技術的、造形的に、高度な研究ができるよう配慮されています。実技・演習に重点を置きつつ、理論的造形思考を高めるために「工芸特論」、「地域文化論」をはじめとして10理論科目が開講されています。常に伝統と現代を追求すること、素材に対する新たな挑戦が期待されています。

### デザイン専攻

視覚デザイン、製品デザイン、環境デザインの3つのコースがあり、現代社会とデザインの様々なテーマに即した実践的な演習が設けられています。また研究の深化には造形の基礎と展開及び方法論が不可欠であるという認識のもと、理論科目も用意されています。博士後期課程への進学の道が開かれています。修了後は、研究者、教育者、ディレクター、デザイナーとして活躍しています。



絵画専攻 「庭」 南野 和



彫刻専攻 「昔、みたあれは何だったのだろう」 深田 拓哉



工芸専攻 「境」 劉 方璐



デザイン専攻 「《未来に向けて》センス・オブ・ワンダーを思い出す展示」 加藤 ころこ

## 実技と理論の総合研究

大学院博士後期課程では、「芸術に関する高度な創造および表現の技術と理論を研究教授し、地域の美術工芸の深奥を究め、これを総合的に発展創造させ、自立して創作および研究活動を行うために必要な高度の能力を備えた美術家および研究者を養成すること」を目的とした研究制作指導・博士論文指導を行っています。年2回公開の研究発表が行われるほか、「地域美術演習」、「造形総合研究」といった実技と理論を総合した学際的な科目も設けられ、学内外を研究の場とした比較的自由なカリキュラムのなかで研究が保証されています。博士後期課程の学生たちは国内外で活躍する作家、研究者でもあり、積極的に広く研究活動の場を求めています。1997年の設置以来、作家、デザイナー、研究者、国内外の大学教員など、精力的に活躍している67名の芸術博士を世に送り出してきました。

## 博士後期課程

金沢から世界へ。  
深く、豊かに学び、大きく羽ばたく。

美術作家として、また研究者として  
より高い領域に到達するための  
高度なカリキュラム。  
世界を目指し、鍛錬を重ねます。



坂本 英駿  
「孔雀」絹本着彩 二曲一隻屏風 H161×W172cm 2022年

### 〈美術研究領域〉

日本画  
油画  
彫刻

### 〈工芸研究領域〉

陶磁  
漆芸  
金工  
染織

### 〈環境造形デザイン領域〉

環境デザイン  
ヴィジュアルデザイン  
プロダクトデザイン

### 〈芸術学研究領域〉

美学  
工芸史  
日本・東洋美術史  
西洋美術史



1-1



1-2



1-3

上原 勇希  
 1-1 「地獄の無法地帯(地獄篇)」キャンバス、油彩 H181.8×W227.3 2020年  
 1-2 「調和と秩序による島の再生(天国篇)」キャンバス、油彩 H194×W194cm 2021年  
 1-3 「狙われた島(煉獄篇)」キャンバス、油彩 H181.8×W227.3 2020年



岩井 美佳  
 左:「刻憶01-ポピー-」(技法:線刻糊防染)綿布、染料 H380×W290cm 2022年  
 右:「Line Growth order 02-tree and flower-」(技法:線刻糊防染)綿布、染料 H280×W750cm 2021年



翁 欣羽  
 「盈月」漆、麻布、螺鈿、錫粉 φ260×H5cm 2021年



新村 和泉  
 「入る」毛糸、羊毛 H900×W213×D7cm 2021-2022年

大学情報

## 美術工芸研究所

美術工芸研究所では、内外の美術工芸の学際的研究、工芸の継承・育成、地域の文化発展への助言・協力、美術工芸資料の収集、保存、調査研究、展示、教育に関する事業を行っています。

所長 原 智 教授 (工芸科)  
保井 亜弓 教授 (西洋美術史)  
水野 さや 教授 (日本・東洋美術史)

### 最近の研究

平成の百工比照収集作成事業(デジタルアーカイブ作成を含む)(平成22年度～)  
高屋肖哲 新出一括資料の整備・調査(平成27年度～)  
益田祐作コレクションの整備・調査(平成27年度～)

### 資料収集と活用

本学の所蔵品は、本学ゆかりの作家や世界的に著名な芸術家の作品を含め約6,700点にのぼります。さらに、卒業・修了制作と論文の中から優秀な作品を選考して購入する買上制度を通じて、開学間もない昭和24年以来、約1,200点の学生買上作品を収集してきました。これらは美術工芸研究所ギャラリー等での展示や、他の美術館への貸出を通じて学内外へ広く公開され、教員・学生の授業や研究の素材としても活用されています。

### 教育と地域交流

令和元年度より、日本に滞在中の外国人留学生を対象として、本学教員の指導の下で金沢の工芸を見て聞いて体験し、日本の文化に触れる「KANABI工芸セミナー」を開講するなど、工芸文化の紹介や地域間の交流促進をはかる活動をおこなっています。

### 美術工芸研究所ギャラリー

平成29年4月に本学の一般公開型の展示施設として整備されました。ギャラリーには、所蔵品の企画展示コーナーと、全国規模で収集した約5,900点の工芸資料を棚から自由に取出してご覧いただける「平成の百工比照」の常設展示・閲覧コーナーがあります。年間数回の企画展を通じてさまざまな角度から本学の所蔵品をご紹介します。



「銅製鷹置物」山川考次、水野源六 明治時代 高35.0 cm



「新収蔵作品展2021」  
令和3年4月7日～5月11日 美術工芸研究所ギャラリー

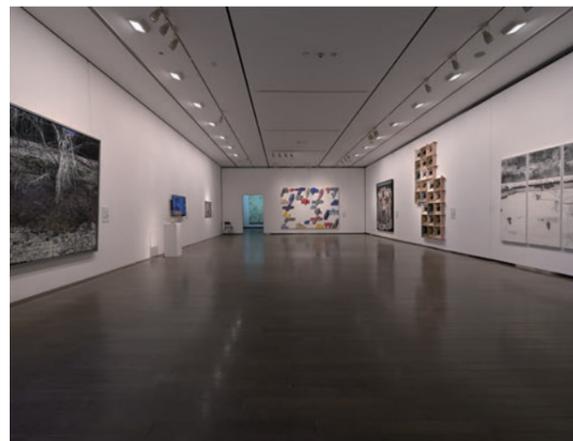


「平成の百工比照-陶磁の素材・道具・技法-」  
令和3年11月22日～12月24日 美術工芸研究所ギャラリー

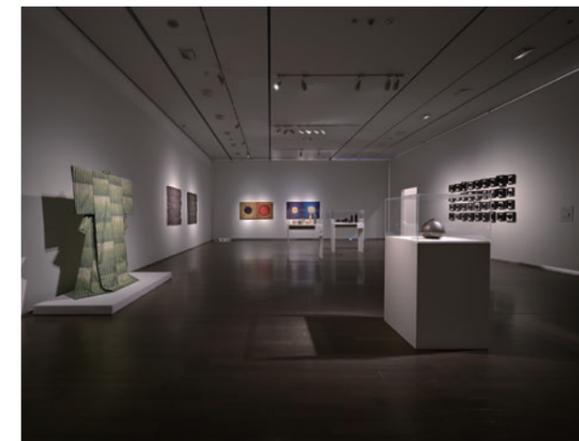
## 教育研究センター

本学教員の研究を紹介する研究発表展の開催や、他大学との研究者間交流事業を行っています。また、本学学生に対する教育の充実をはかるため、教員の教育活動支援事業を実施しています。加えて、免許状更新講習を通じて、全国の美術教育の資質・能力の向上に貢献しています。

センター長 荷方 邦夫 教授 (一般教育等)



「金沢美術工芸大学 教員研究発表展2021 美大のしごと」  
令和3年11月30日～12月12日 金沢21世紀美術館市民ギャラリーA



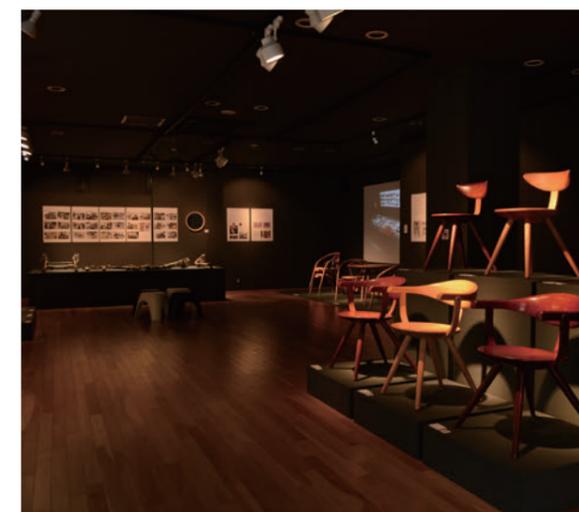
## 柳宗理記念デザイン研究所

本学で長年にわたり、教鞭をとった世界的工業デザイナーである柳宗理氏(1915-2011)のデザイン思想やデザイン史における位置づけを明らかにする調査研究を進め、その成果を学生の教育にいかし、広く社会へ発信することを目的としています。

寺井 剛敏 教授 (視覚デザイン)



展示資料室1(常設)



「技術とかたち-柳宗理の木工家具- 曲木」  
平成31年3月29日～令和元年5月26日 柳宗理記念デザイン研究所展示資料室2

## 社会連携センター

金沢美術工芸大学は社会貢献を教育と研究に並ぶ大学の使命と位置づけ、地域連携・産学連携をとおして積極的に活動を行っています。本学の持つデザイン、美術工芸分野に関する専門知識や技術、社会連携で得られた成果を広く社会に還元するとともに、産業や地域の活性化に貢献し、これらの活動を体験することで、より実践的に社会に貢献できる人材を育成します。

社会連携センター長 安島 諭 教授 (製品デザイン)

### 地域連携部門

本学のもつ人的資源やノウハウを活用し、地域社会や市民生活に対する芸術文化貢献事業などを通し、グローバルな視点を持ちながら地域の課題解決に取り組んでいます。

### 産学連携部門

地域産業や伝統文化の発展のため、企業、組合団体、他大学、研究機関、国や自治体などと連携し、新しい価値を創出する研究開発や、新たな産業・事業の振興を目指しています。

### 知財管理部門

大学で生まれた知的財産権の管理、活用や戦略立案、知的財産権を通じた社会との連携促進まで、産業界や地域社会と一体となって各連携部門の活動を支援、推進しています。

## 金沢マラソン 完走メダルデザイン・プロジェクト

金沢マラソンは金沢をまるごと「走る!」をキャッチフレーズに2015年から開催されており、金沢の魅力が満喫できるフルマラソンとして大変人気の高い大会となっています。その完走者に贈るメダルのデザインを、初回大会から続けて提案させていただいています。学生たちの豊かな感性をベースにした金沢らしいオリジナリティあるデザインの完走メダルは、毎回、ランナーからも大変好評となっています。



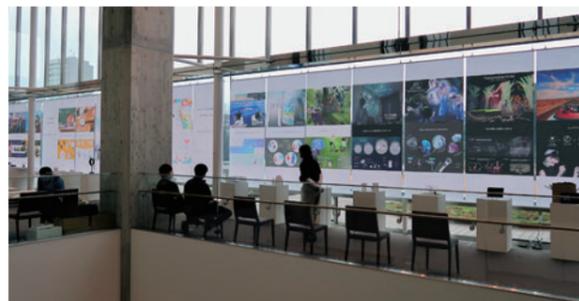
## ホスピタリティアート・プロジェクト

金沢市立病院との連携により2009年から継続して行われている、医療分野におけるアートの潜在的な可能性を探求するプロジェクトです。スタンドグラス風の装飾を制作するワークショップや、病院を作品で満たすホスピタル・ギャラリーなどを通して、患者、医療関係者、学生が同じ視点で時間を共有するコミュニケーションの在り方を研究しています。



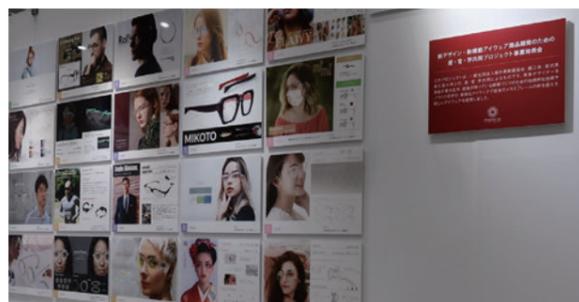
## Visionary thinking・プロジェクト

製品デザイン専攻3年生と大学院1年生の合計22名が、スズキ株式会社とスカパーJSATとの連携プロジェクトとして共通テーマ「Visionary thinking」(新しい社会のパラダイムを洞察し自らの意思を持って未来を創る)のサービス&商品開発を行いました。プロジェクトは7つのグループに分かれて、それぞれにプロのデザイナーがメンターとして加わり進められました。金沢市にある「しいのき迎賓館」にてプロジェクトの成果発表と展示を行いました。



## メガネのデザイン・プロジェクト

福井県眼鏡協会との連携によるプロジェクトで、もとをただせば「めがね部」という学生が主体のクラブ活動に端を発し2003年から継続されている研究です。研究成果やノウハウは先輩から後輩へ引継がれ蓄積されており、商品化の実績もあります。メガネの世界的な産地である福井県鯖江市の世界トップクラスの技術、品質、信頼性と学生ならではの創造性の融合により、産地の活性化にも貢献しています。



## 附属図書館

万巻の書籍から、達成できる研究がある

1カットの挿絵から、ひらめく発想がある

本の世界、そしてマルチメディアへ



「大学で美術を学ぶ」ということは、自分の表現や意識をいつも振り返り、自分なりのコトバやカタチを見つけていくことと言えるでしょう。そのアドバイザーとなる場所が図書館です。本学附属図書館の歩みは、1946年金沢美術工芸専門学校の設立から始まりました。時代も貧しく、200冊程度の教員の持ちよりから図書館が始まったのです。

なんてほのぼのとした時代だったのでしょうか!その後、図書館棟は、1972年の現在のキャンパス移転に伴って新築され、旧キャンパスの図書館棟(かつての本多蔵品館)の設計をそのまま引き継いだ由緒ある建築物です。

2000年には現在のように増築され、快適な環境が用意されました。

蔵書は美術・工芸・デザイン関係の図書をを中心に、現在12万冊を超えています。国内外の貴重な画集や研究書の古典籍、江戸時代の和綴本も多くあります。

また美術の研究に供するため、東西の文学、歴史、哲学、宗教等の隣接分野の辞書、全集、研究書などの収書にも力を入れています。学生からの購入リクエストの制度もあります。OPACシステムで簡単に蔵書検索ができて本へのアクセスは容易ですし、全国の大学間での相互貸借も可能です。

本だけではありません。ビデオやDVDなどの視聴覚資料には、伝統工芸から現代美術まで、また古典映画などの収集にも力を入れています。これらは館内のAVブースで自由に閲覧ができます。

図書の活用法や専門書の探索など、分からないことがあったら遠慮なく質問してください。図書館職員や教員ライブラリアンが丁寧に助言してくれるでしょう。

もちろん、友人どうして教え合うことも大切です。図書館はコミュニケーションのひろばです。

### 蔵書

2022.3.31 現在

図書	124,101冊
和書	95,919冊
洋書	28,182冊
雑誌	1,481誌
和書	1,321誌
洋書	160誌
視聴覚	3,375タイトル

### 利用状況

2021年度

入館者数	22,533人
貸出冊数	13,583冊
市民登録者数(累計)	1,259人

附属図書館長 桑村 佐和子 教授 (一般教育等)

## 国際交流

世界を舞台に活躍する芸術家、デザイナー、研究者などの育成を目指し、海外作家講演会、海外作家招聘事業、大学間交流などの国際交流活動を行っています。

国際交流センター長 稲垣 健志 准教授（一般教育等）

### 海外作家講演会

海外のアーティスト、デザイナー、大学教員、研究者等による講演会です。各分野の専門知識や最新の情報・動向を得る機会を提供しています。



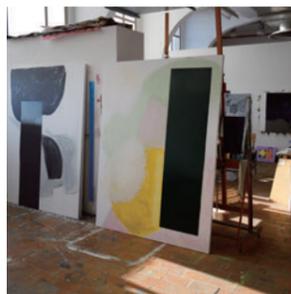
大山エンリコイサム 氏



緒方 しらべ 氏

### 大学間交流

ゲント王立美術アカデミー（ベルギー／ゲント）、ナンシー国立高等美術学校（フランス／ナンシー）、清華大学美術学院（中国／北京）、大連工業大学（中国／大連）と交流協定を結び、学生・教職員の相互派遣などを行ってきました。今後も順次大学間交流を拡充していく予定です。



ゲント王立美術アカデミー（ベルギー）



ゲント視察



ゲントへの短期派遣留学



研究発表をするゲントからの留学生



ナンシー国立高等美術学校（フランス）



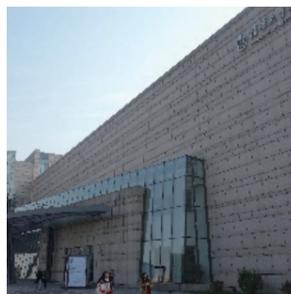
ナンシー視察



ナンシー姉妹都市交換留学生



ナンシーとゲントからの留学生を交えた授業の様子



清華大学美術学院（中国）



授業に参加する清華からの留学生



蔣 斌氏（清華）を囲んだ昼食会



短期派遣留学生帰国報告会



大連工業大学（中国）



国立台湾芸術大学との学術交流協定締結式



留学生を交えた授業

# 金沢美術工芸大学のキャンパス移転について



広場：地中に雨水貯留施設を設けた多目的なイベントスペース

金沢美術工芸大学は、1946年(昭和21年)、戦後の混乱と虚脱のなか、学問を好み、伝統を愛し、美の創造を通じて人類の平和に貢献することを希求する金沢市民の熱意により、工芸美術の継承発展と、地域の文化と産業の振興を目指して創立されました。昭和30年には4年制大学として認可され、美術・工芸・デザインの各分野における個性豊かな教育と学術研究に取り組み、これまでの間、多くの人間国宝や第一線で活躍するクリエイターを輩出し、国内外の文化・芸術の発展を支えてきています。しかしながら、大学の活動拠点である現キャンパスは、築40年を経過したことによる老朽化が著しく、また、建物の耐震性や制作スペースの不足等多くの課題があることから、金沢大学工学部跡地へのキャンパス移転が決定しました。

## 主な経過

平成26年2月	金沢市が「世界の交流拠点都市金沢重点戦略計画」において、金沢美術工芸大学の移転整備を重点施策として位置づけ
平成28年2月	金沢美術工芸大学において、「金沢美術工芸大学新キャンパス構想」を策定し、金沢市長へ報告書を提出
平成29年2月	金沢美術工芸大学移転整備基本構想検討懇話会の報告をもとに、金沢市が「金沢美術工芸大学移転整備基本構想」を策定
平成30年2月	金沢美術工芸大学移転整備基本計画検討懇話会の報告をもとに、金沢市が「金沢美術工芸大学移転整備基本計画」を策定
平成30年9月	金沢美術工芸大学建設工事設計者選定委員会において、「SALHAUS(サルハウス)・カワグチテイ建築計画設計共同企業体」を最適設計者として決定
令和元年9月	金沢市が、「金沢美術工芸大学建設工事基本設計」をとりまとめ
令和2年9月	金沢市が、「金沢美術工芸大学建設工事実施設計」をとりまとめ

## 今後の予定

令和3年度～令和4年度	建設工事
令和5年度	新キャンパス移転予定



アートプロムナード：大学の活動を広く発信する場となるキャンパスのメインストリート



創作の庭：共通工房に囲われ、学生が集中し自由に創作できるコミュニティ空間



アートコモンズ：キャンパス全体に分散して配置された展示や合評のためのスペース

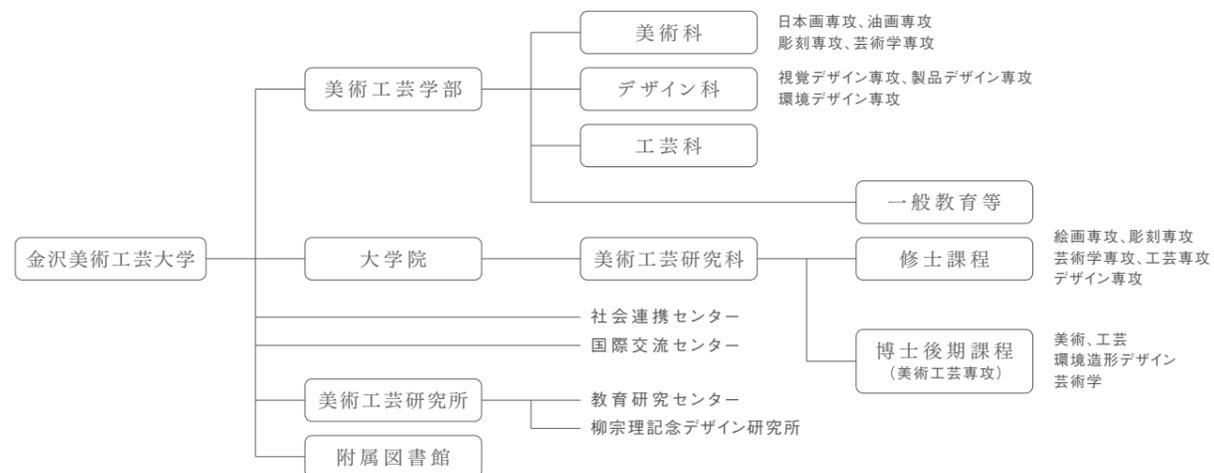


遊歩道：辰巳用水に沿って緑や水を感じられ気軽に散策できる歩行者空間

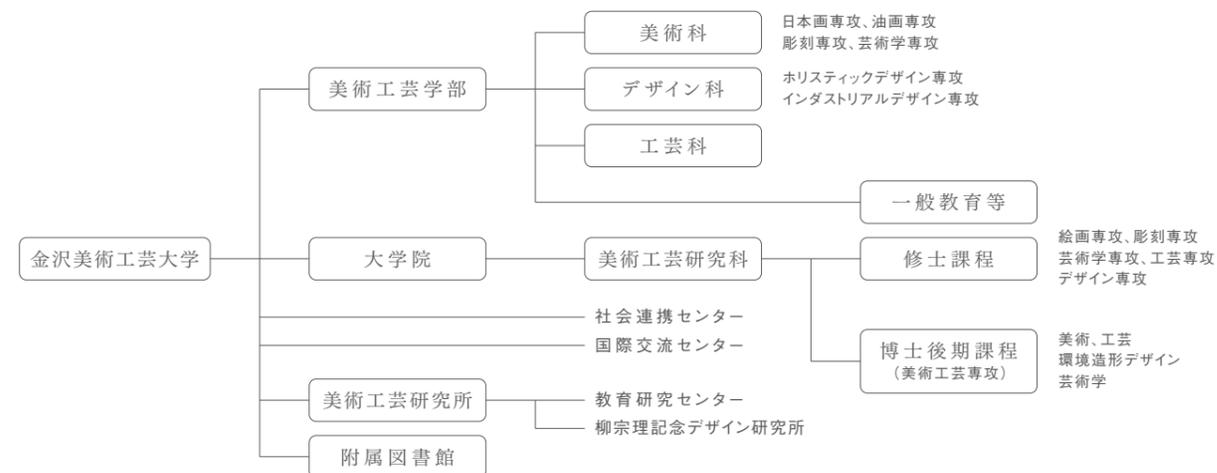


鳥瞰パース

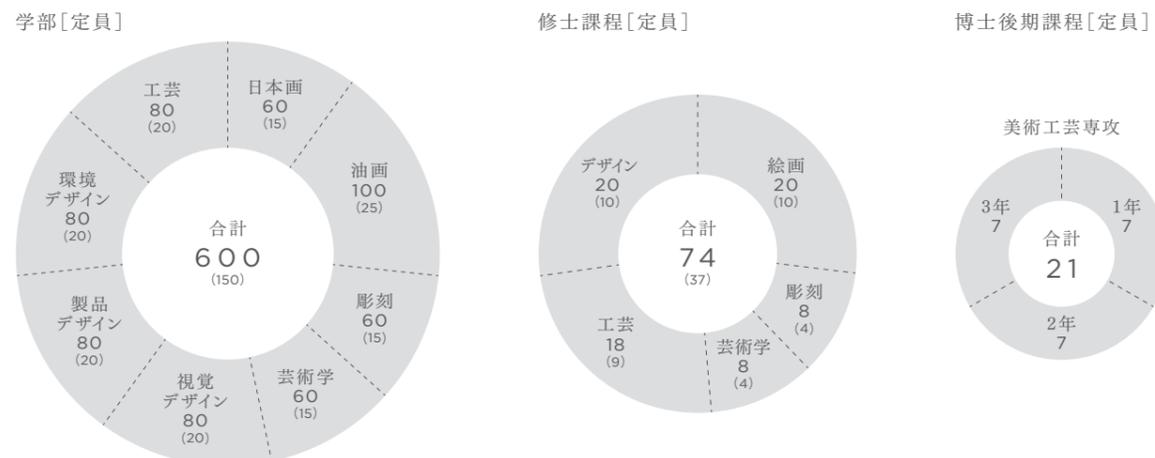
## 大学の組織(2022)



## 大学の組織(2023)

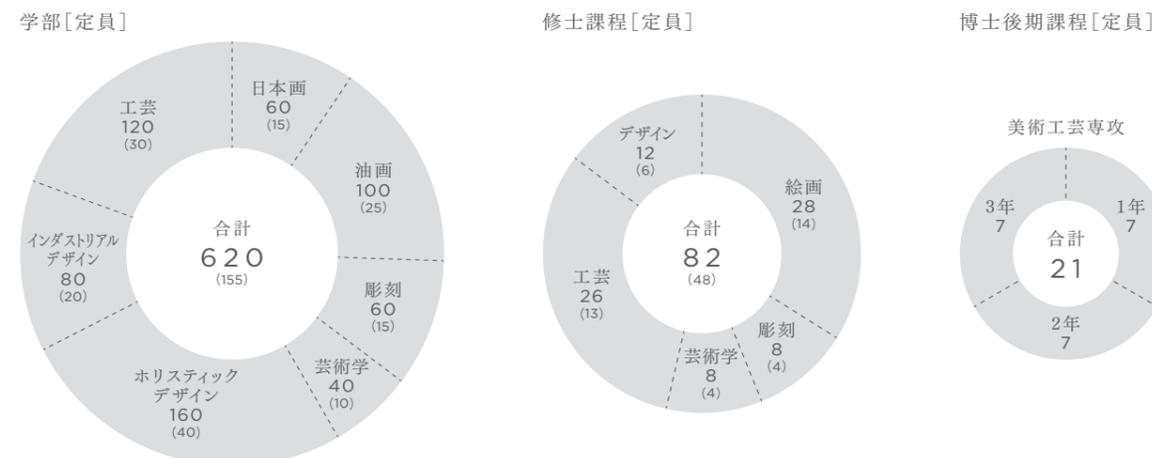


## 学生数(2022)



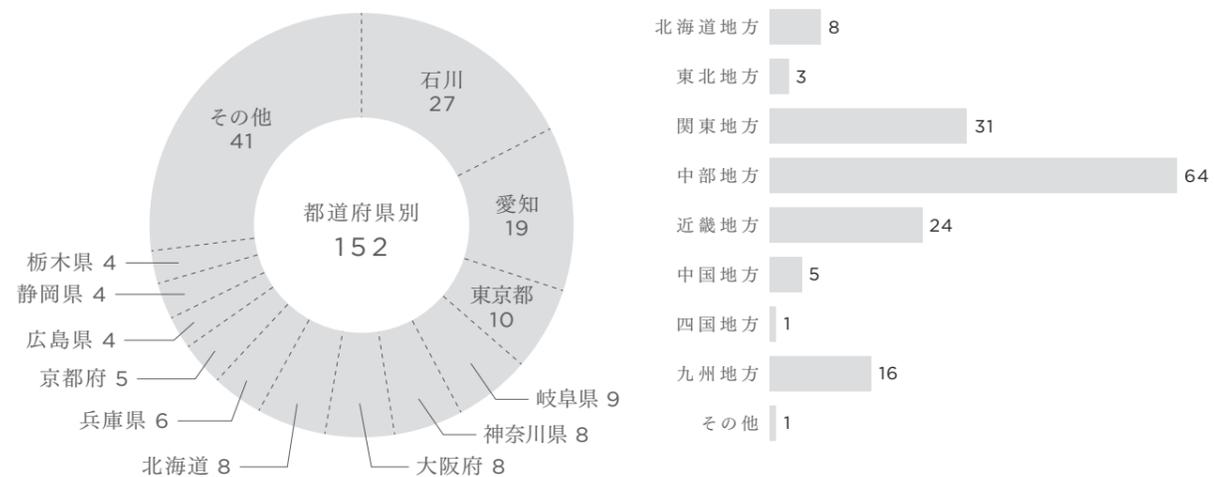
※( )内は各学年の定員数です。

## 学生数(2023)



※( )内は各学年の定員数です。

## 出身校所在地別入学者数(2022)



## 入学試験結果

		2022							2021								
		一般選抜			推薦入試				入学者	一般選抜			推薦入試				入学者
		募集人員	志願者	倍率	募集人員	志願者	倍率	募集人員		志願者	倍率	募集人員	志願者	倍率			
美術科	日本画	15	81	5.4	-	-	-	15	15	82	5.5	-	-	-	15		
	油画	25	147	5.9	-	-	-	25	25	177	7.1	-	-	-	25		
	彫刻	15	50	3.3	-	-	-	15	15	65	4.3	-	-	-	15		
	芸術学	10	33	3.3	5	6	1.2	15	10	40	4.0	5	11	2.2	15		
デザイン科	視覚デザイン	18	270	15.0	2	51	25.5	21	18	192	10.7	2	22	11.0	20		
	製品デザイン	18	65	3.6	2	13	8.5	21	18	74	4.1	2	12	6.0	20		
	環境デザイン	18	59	3.3	2	10	5.0	20	18	73	4.1	2	6	3.0	20		
工芸科		18	89	4.9	2	11	5.5	21	18	109	6.1	2	13	6.5	22		
合計		137	794	5.8	13	91	7.0	153	137	812	5.9	13	64	4.9	152		

## 学費

入学金	授業料
金沢市内居住者(入学手続き時に納入)	年間
282,000円	535,800円
上記以外の者(入学手続き時に納入)	前期分(4月30日までに納入)
423,000円	267,900円
	後期分(10月31日までに納入)
	267,900円

## その他の経費

1.成美会費〔後援会費〕(入学手続き後に納入)	60,000円	2.学生自治会費(入学手続き後に納入)	10,000円
3.研修旅行費(入学手続き後に納入)		4.専攻実習費内訳(入学手続き時に支払う分)	
日本画専攻	100,000円	日本画専攻	110,000円
油画専攻	200,000円	油画専攻	90,000円
彫刻専攻	100,000円	彫刻専攻	250,000円
芸術学専攻	100,000円	芸術学専攻	80,000円
デザイン科(各専攻共通)	120,000円	デザイン科(各専攻共通)	100,000円
工芸科	130,000円		

※入学金・授業料等は改定される場合があります。  
 ※在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が適用されます。  
 ※納入した入学金・授業料は返還しません。  
 ※高等教育の修学支援制度の対象となっています。

## 奨学金

2021年度(令和3年度)

奨学金の名称	給付・貸与の別	支給対象学生数	対象	1件あたりの年間支給額
日本学生支援機構奨学金(第一種)	貸与	111	学部	(平均) 442,032円
日本学生支援機構奨学金(第二種)	貸与	106	学部	(平均) 772,075円
日本学生支援機構奨学金(第一種)	貸与	23	大学院	(平均) 964,173円
日本学生支援機構奨学金(第二種)	貸与	2	大学院	(平均) 600,000円
日本学生支援機構奨学金	給付	48	学部	(平均) 634,050円
石川県育英資金	貸与	1	学部	528,000円
あしなが育英会大学奨学生	給貸併用	4	学部・大学院	(平均) 870,000円
中村積善会奨学金	給貸併用	1	学部・大学院	960,000円
神山財団芸術支援プログラム	給付	2	大学院	200,000円
佐藤国際文化育英財団奨学金	給付	1	学部・大学院	360,000円
国際瀧富士美術賞	給付	2	学部	300,000円
戸部真紀財団奨学生	給付	1	学部・大学院	600,000円

※令和4年3月現在

## 外国人留学生奨学金

2021年度(令和3年度)

奨学金の名称	給付・貸与の別	支給対象学生数	対象	1件あたりの年間支給額
石川県私費外国人留学生奨学金 (入学から1年未満)	給付	3	大学院	240,000円
ロータリー米山記念奨学生	給付	1	大学院	1,680,000円
平和中島財団奨学金	給付	1	学部・大学院	1,200,000円
文部科学省学習奨励費	給付	1	大学院	576,000円

※令和4年3月現在

## 生活費のめやす

ひとり暮らしの場合(1ヶ月当たりの金額)

家賃(共益費を含む)	25,000円～60,000円	[平均37,000円]
食費	10,000円～53,000円	[平均27,000円]
部屋の広さ	6畳～15畳	[平均9畳]
光熱水費(ガス・水道・下水道・電気)	4,000円～15,000円	[平均9,000円]

大学周辺にはたくさんの学生向け住宅等があり、徒歩や自転車10分程度の通学範囲です。  
 近所に友達が住んでいるという環境で、学生同士の交流が活発なため、女子学生にも安心です。  
 また、一軒家をシェアして借りる学生もおり、住み方は様々で、通信費や光熱費込みとなっている住宅等もあります。  
 なお、入学手続きの際に、本学に不動産業者の出張所が設置されますので、そこで住居を決められる方もいます。

## 教員一覧

### 客員教授

村居 正之(日本画)
米谷 清和(日本画)
今井 信吾(油画)
木村 克朗(油画)
萩原 朔美(油画)
岩間 弘(彫刻)
藤 浩志(彫刻)
深井 隆(彫刻)
片岡真実(芸術学-SCAPe)
谷 兎(芸術学)

Rebecca Jennison (芸術学-SCAPe)

石浦 弘幸(視覚デザイン)
小山 弓弦葉(視覚デザイン)
川村 真司(視覚デザイン)
中垣 信夫(視覚デザイン)
落合 陽一(製品デザイン)
太刀川 英輔(製品デザイン)
原田 則彦(製品デザイン)
三浦 英夫(製品デザイン)
新保 智子(環境デザイン)
須田 武憲(環境デザイン)
廣村 正彰(環境デザイン)
鷺田 めるろ(環境デザイン)
大角 幸枝(工芸)
樋田 豊次郎(工芸)
前田 昭博(工芸)
森口 邦彦(工芸)
山岸 一男(工芸)

### 日本画

### 教授

松崎 十朗
佐藤 俊介
荒木 恵信

### 准教授

石崎 誠和

### 非常勤講師

荒木 史(芸術師)
岩田 壮平(武蔵野美術大学)
岡村 桂三郎(多摩美術大学)
北澤 憲昭(美術評論家)
北田 克己(作家)
新恵 美佐子(作家)
土屋 禮一(本学名誉教授)
中村 賢次(崇成大学)
仁志出 龍司(本学名誉教授)
野地 浩一郎(泉屋博物館東京)
能島 浜江(作家)
松永 敏(作家)
山田 毅(作家)

### 油画

### 教授

三浦 賢治(絵画)
大森 啓(絵画)

高橋 治希(絵画・立体・空間表現)
鈴木 浩之(絵画・映像)

### 准教授

岩崎 純(絵画・ミクストメディア)

### 講師

武田 雄介(絵画・インスタレーション)

### 非常勤講師

安達 博文(作家)

石田 尚志(多摩美術大学)

イヌイマサノリ(イラストレーター・絵本作家)

奥野 恵(アートフロントギャラリー)

笠井 麻衣子(作家)

喜井 豊治(モザイク作家)

菊谷 達史(作家)

黒坂 圭太(武蔵野美術大学)

黒澤 浩美(金沢21世紀美術館)

末松 智(造形作家・復元図家)

千川 岳志(作家)

千葉 正也(作家)

中桐 聡美(作家)

中田 耕市(金沢21世紀美術館)

中矢 篤志(作家)

西山 美なこ(作家)

丹羽 洋介(作家)

野中 祐美子(金沢21世紀美術館)

長谷川 新(インディペンデントキュレーター)

早見 紗也佳(映像作家)

東村 アキコ(まんが家)

福島 唯史(日本大学)

藤井 俊治(成安造形大学)

藤原 工(照明デザイナー)

前川 裕介(写真・映像カメラマン)

松村 浩之(富山大学)

宮原 康展(CMディレクター)

向川 惣一(美術史家)

山本 順子(作家)

山本 基(作家)

横江 昌人(作家)

### 彫刻

### 教授

石田 陽介
土井 宏二

浜田 周

芝山 昌也

### 准教授

津田 道子

### 非常勤講師

小清水 漸(京都市立芸術大学名誉教授)

林 一平(彫刻家)

渡辺 秀亮(石彫家)

本郷 芳哉(彫刻家)

宮永 愛子(作家)

### 芸術学

### 教授

神谷 佳男(絵画・版画)

菊谷 裕子(近現代工芸史、現代視覚文化研究)

よしだ ぎょうこ(現代美術)

兼)保井 亜弓(美術工芸研究所)

兼)水野 さや(美術工芸研究所)

### 講師

山本 浩貴(美学・芸術評論)

### 非常勤講師

五十嵐 嘉晴(本学名誉教授)

今西 泰赳(生物学者・陶芸家)

上田 恒夫(本学名誉教授)

岡 泰史(4代目岩太郎、岡墨光堂)

加治屋 健司(東京大学)

片岡 真実(森美術館)

木田 拓也(武蔵野美術大学)

北澤 憲昭(美術批評)

木下 直之(静岡県立美術館)

木村 恵一(翻訳家)

幸福 輝(国立西洋美術館)

坂本 雅美(紙本修復家)

野中 祐美子(金城大学)

佐々木 千嘉(金城大学)

さわ ひらき(メディアアーティスト)

塩谷 純(東京文化財研究所)

ジョン・トラン(美術批評家・写真家)

蘇 哲(金城大学)

宋 有宰(金沢大学)

ブライアン・ジョン・ソロモン(国連大学)

高橋 幸次(国際ファッション専門職大学)

谷 兎(野村美術館)

中村 卓夫(陶芸家)

名雪 園代(造形作家)

長谷川 祐子(金沢21世紀美術館)

林 一平(木彫作家)

毎田 健治(加賀友禪・毎田染画工)

毎田 仁嗣(加賀友禪・毎田染画工)

明珍 素也(明古堂 仏像修復師)

森 仁史(元・柳宗理記念デザイン研究所)

レベッカ・ジェニソン(京都精華大学名誉教授)

渡邊 明敏(英文学者)

渡辺 秀亮(石彫家)

### 視覚デザイン

### 教授

寺井 剛敏(ブランディング)

鈴木 康雄(映像)

### 准教授

廣瀬 純子(ファッション)

坂野 徹(エディトリアル)

### 講師

下浜 臨太郎(グラフィック)

樺島 脩(ゲーム)

### 非常勤講師

朝山 勝允(NIKE)

池田 洋一郎(ミュージシャン)

石井 うさぎ(Executive Creative Director)

上岡 大介(セガ)

大西 英史(大西英史企画制作室)

岡野 邦彦(shotype design)

尾上 永晃(電通)

国枝 千晶(スクリーンプロセクニエダ)

熊倉 桂三(山田写真製版所)

熊崎 信也(ハル研究所)

桑原 秀平(博報堂)

相楽 賢太郎(ポラーノ)

作本 慎介(ニコトラボ)

佐々木 隼(オインクゲームズ)

佐藤 和子(デザイン・ジャーナリスト)

佐藤 ねじ(ブルーバドル)

高村 達(写真家)

館田 千里(オータニアートスクール)

とりこえ まり(絵本作家)

島海 修(字遊工房)

中川 暁文(作家)

永原 康史(多摩美術大学)

早川 和良(TYO)

日高 一樹(日高国際特許事務所)

日原 広一(宮城大学)

平野 滉太郎(平野滉太郎デザイン研究所)

藤岡 将史(電通クリエイティブX)

神子澤 知弓(神子澤知弓デザイン事務所)

三澤 直加(グラグリッド)

山口 省一(mycolorsp)

吉川 豪(パナソニック)

吉川 義盛(フリーランス)

米村 浩(博報堂)

### 製品デザイン

### 教授

村中 稔(情報機器・インタラクシジョンデザイン)

浅野 隆(モビリティデザイン)

河崎 圭吾(家電デザイン)

安島 諭(公共用品デザイン)

根来 貴成(家具・インテリア製品デザイン)

### 非常勤講師

秋田 純一(金沢大学)

稲垣 揚平(エイジデザイン)

井手 裕紀(NEC)

入矢 真一(ソニー)

上町 達也(雪花)

小倉 ひろみ(スタジオピーバ)

小野 正晴(MAGARIMONO inc.)

北川 大輔(DESIGN FOR INDUSTRY INC.)

熊崎 純一(NEC)

坂井 兎(NEC)

佐藤 和子(デザインジャーナリスト)

品野 與四寛(AD PHOTO SHINANO)

杉本 匡史(関西学院大学)

鈴木 元(GEN SUZUKI STUDIO)

高橋 英行(テクノロジー・ジョイント)

館田 千里(オータニアートスクール)

都筑 堯志(ミュージー)

永原 隆(DDS)

日高 一樹(日高国際特許事務所)

日原 広一(宮城大学)

福定 良佑(FUKUSADA STUDIO)

藤田 光一(柳工業デザイン研究会)

益田 文和(オープンハウス)

丸山 幸伸(HITACHI)

三澤 直加(グラグリッド)

宮澤 貴司(スズキ)

山田 和紀(山田デザイン)

結城 康和(スズキ)

吉川 豪(パナソニック)

渡邊 恵太(明治大学)

### 環境デザイン

### 教授

角谷 修(空間デザイン)

鏑 隆弘(ランドスケープデザイン)

畝野 裕司(ディスプレイデザイン)

北村 賢哉(プロダクトデザイン)

### 准教授

西本 耕喜(建築)

### 非常勤講師

上坂 達朗(東洋設計)

沖津 真美(Epice)

金子 早苗(金子早苗建築空間設計室)

岸野 桃子(資生堂)

北川 勝明(中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋)

隈 研吾(隈研吾建築都市設計事務所)

洪 恒夫(丹青社)

坂本 英之(金沢美術工芸大学名誉教授)

佐藤 和子(デザイン・ジャーナリスト)

鈴木 啓泰(鈴木管工業)

館田 千里(オータニアートスクール)

中 晴夫(金沢測機)

橋本 浩司(橋本建築造園設計)

平野 滉太郎(平野滉太郎デザイン研究所)

丸岡 喜市(丸岡樹仙堂)

三澤 直加(グラグリッド)

村田 悟(高田産業)

毛利 公晟(建築デザイン事務所やもり)

山田 憲子(設計事務所あとといえ。)

山本 周(山本周建築設計事務所)

吉川 豪(パナソニック)

吉永 光秀(乃村工藝社)

吉村 寿博(吉村寿博建築設計事務所)

林野 紀子(りんの一級建築事務所)

### 工芸

### 教授

田中 信行(漆造形)

山村 慎哉(漆芸)

山本 健史(陶造形)

原 智(鍛金)

大高 亨(染織)

池田 晶一(陶造形)

足立 真実(織)

### 准教授

加賀城 健(染色)

宮永 春香(陶磁)

青木 千絵(漆造形)

水代 達史(彫金)

### 講師

上田 剛(鋳金)

### 非常勤講師

〈陶磁〉

武腰 潤(陶磁・上絵)

高橋 宏(陶磁・釉薬)

竹内 智恵(陶磁・染付)

中田 雅巳(陶磁・クロコ)

田 聡美(ガラス)

〈漆木工〉

中嶋 虎男(木工芸・挽物)

田村 一舟(漆芸・蒔絵)

大藪 泰(漆材料科学)

金田 一司(木工芸・削物)

荒川 文彦(漆芸・髹漆)

酒井 忍(木工芸・指物)

名雪 園代(漆芸)

太田 翔平(デジタルファブリケーション)

〈金工〉

桂 盛仁(彫金・重要無形文化財技術保持者)

中川 衛(彫金・重要無形文化財技術保持者)

藤田 政利(鍛造)

田口 史樹(ジュエリー)

宮崎 匠(鋳金)

〈染織〉

毎田 健治(友禪)

関島 寿子(バスケットリー)

福本 繁樹(染色)

平木 有二(染織研究)

平木

活躍する卒業生

日本画



北川 由希恵 2014年修了  
「時を刻む蘇鉄」 2019年改組新第6回日展特選



帰山 正樹 2013年修了  
「地を爬う虫」 第47回 日春展 奨励賞

視覚デザイン

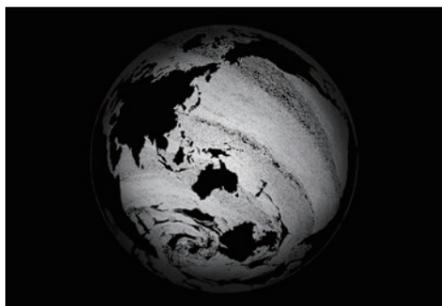


大黒 大悟 2003年卒業 HIDA: A Woodwork Tradition in the Making  
2003年日本デザインセンター入社。2011年大黒デザイン研究室設立。  
2018年から拠点をLAに移す。アート、ライフスタイル、テクノロジーに  
フォーカスし、新たな価値創出のための活動を行なっている。



森 悠哉 2010年卒業 「日清爆裂」シリーズ  
デザイン制作会社、出版社を経て、2019年より日清食品ホールディ  
ングスに在籍。パッケージを中心に商品ブランディングなどのアート  
ディレクション及びデザイン制作を行っている。

油画



山本 基 1995年卒業  
塩によるインスタレーション作品  
OFXのCM (オーストラリア企業とのコラボレーション)



東村 アキコ 1998年卒業  
「かくかくしかじか」 第19回文化庁メディア芸術祭マンガ部門大賞  
「東京タラレバ娘」 第6回ananマンガ大賞

製品デザイン

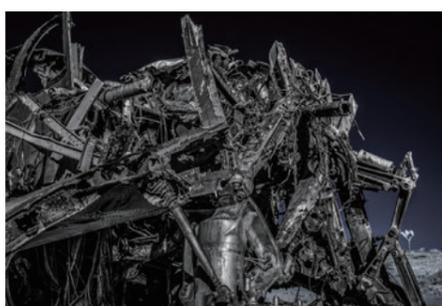


兼田 尚枝 1998年卒業  
ステレオヘッドセット WI-1000XM2  
ソニー㈱



愛場 和樹 1994年卒業  
SUBARU BRZ エクステリアデザイン  
㈱SUBARU

彫刻



杉山 有希子 2011年修了  
CRASH CA 02 (2017)



山内 祥太 2014年卒業  
太陽がどうしても近くにあるように感じられる (2021)

環境デザイン



鈴木 泰士 2011年卒業  
ショーウィンドウ BRIDALFAIR2016 Christmas  
株式会社ミキモト



碓氷 修也 2015年卒業  
Lクラス バスルーム  
パナソニック㈱

芸術学

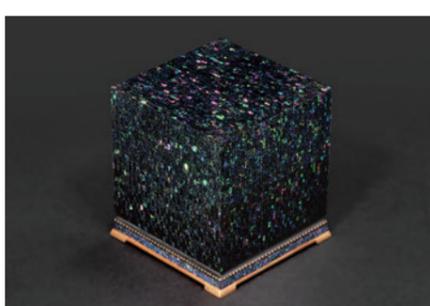


石川 達紘 2018年修了  
弘前れんが倉庫美術館 学芸統括



神野 元次郎 2022年修了  
国立工芸館の工芸課情報資料室 研究補佐員

工芸



池田 晃将 2016年修了  
「電光十進玉箱」  
電光装飾-Cyber Effect-池田晃将 漆芸展 (日本橋高島屋)



久米 圭子 2011年修了  
「wonders080」  
第8回清州国際工芸公募展 特選

## 学生生活

### 美大祭

毎年11月の初旬に、自治会(美大祭実行委員会)の主催で美大祭を開催しています。学生の作品展示、講演会、仮装パレード、模擬店など多彩な催しです。学生・教職員相互の親睦はもとより、市民との交流を深めるお祭りです。美大生にとって、学生生活のなかで一番思い出に残る行事でもあり、同時に大学所蔵品の展示など、美大を市民に公開する絶好の機会でもあります。



### 五芸祭

金沢美大・東京藝大・愛知芸大・京都市立芸大・沖縄芸大の学生及び教職員が、「毎年5月下旬に当番大学に集い、体育行事を中心として互いの芸術文化活動の交流をはかる伝統的な催しで、既に65回の歴史を有します。スポーツクラブは順位を競い、全種目の総合得点で五芸祭優勝校が決まります。音楽部門を有する他大学を主体に、合同演奏会なども催されます。何よりも学生・教員にとって交流・情報交換ができる貴重な機会となっています。



### クラブ活動

本学には、体育系22、文化系23のクラブがあり、多くの学生が活動に参加しています。他大学におけるクラブ活動とは少し様相を異にし、のびのびとスポーツを楽しむ、同じ趣味の仲間が集うといったクラブが多く学年、専攻を越えた友好の場となっています。



### 学外研修

各専攻実習授業の一環として、年に4日～9日間の研修が実施されています。各専攻の研究内容、社会状況、学生事情等にあわせて計画・研修地が選ばれ、国内外の古美術研修、郊外写生授業、企業実習体験、アトリエ訪問などを行います。学生にとっては数少ない宿泊を伴う研修で、近年は海外研修を実施する専攻もあり、学生が楽しみにしている授業のひとつです(旅行費用等は入学時に納入)。



### 生活支援

キャンパスライフに密着したさまざまな支援体制が整えられています。弁当やパン等の販売はもちろん、画材を調達できる売店が用意されているほか、体の健康維持のための保健室やこころの相談を気軽にできる学生相談室が開設されています。また経済的な安定には、日本学生支援機構をはじめ各種の奨学金制度を利用することができるほか、事務局の窓口にはアルバイト情報や下宿情報が用意され、就職支援も行っております。また、個展やグループ展を開きたいという意欲のある学生には展覧会補助制度があり、留学を志す学生には、ヨーロッパやアジアの美術学校への派遣制度もあります。



## アクセス



### 大学への交通

電車	金沢駅下車	タクシー	金沢駅から約20分
バス	金沢駅東口(兼六園口)バスターミナル6番のりば ①東部車庫行、①金沢学院大学行、 ②湯涌温泉行、②北陸大学薬学部行、 ②北陸大学太陽が丘行、⑥駒形行(乗車約25分)	自動車	北陸自動車道 金沢森本IC から約15分 金沢西IC から約25分
	金沢駅東口(兼六園口)バスターミナル7番のりば ⑬湯谷原行	航空機	小松空港から
	金沢駅西口(金沢港口)バスターミナル5番のりば ⑩東部車庫行、⑬湯谷原行(乗車約25分) いずれのバスも「小立野(こたつの)」で下車してください。(徒歩約8分)	[バス]	リムジンバス(乗車約40分) 金沢駅下車 (乗り換え、東口、西口から電車の場合に同じ)

## 金沢美術工芸大学 KANAZAWA COLLEGE OF ART

公立大学法人 金沢美術工芸大学  
〒920-8656 石川県金沢市小立野5丁目11番1号  
TEL 076-262-3531 FAX 076-262-6594

